

2016年卒学生 就職活動状況 中間まとめ

— 就職プロセス調査 2015年3月～10月より —

就職みらい研究所では、2016年卒の就職を意向する学生を対象に「就職プロセス調査」を実施しております。本資料では、3月（3月1日時点）～10月（10月1日時点）の調査結果の一部を抜粋し中間まとめとしてご報告いたします。

コンテンツ

調査概要	… P2
調査結果 サマリー	… P3

I 章 3月1日時点から10月1日時点の就職内定に関する状況

【1】 就職内定状況・就職活動実施率	… P4
【2】 内定未取得者と内定取得者の就職活動実施率	… P5
【3】 内定取得社数	… P8
【4】 内定を辞退したことのある学生の割合	… P9
【5】 内定先企業への入社意向	… P10
【6】 10月1日時点での就職確定先業種、従業員規模	… P11
(参考) 8月の間の内定(内々定)状況、内定先企業の業種、従業員規模、入社意向	
【7】 「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴	… P13

II 章 2月から9月の就職活動や志望の状況

【1】 就職活動プロセス毎の実施状況	… P14
【2】 「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合	… P16
【3】 就職志望状況＜志望業種＞	… P18
【4】 就職志望状況＜志望企業規模＞	… P20

III 章 2月から9月の学生の心情

【1】 「就職活動」に対する気持ちの高まり度	… P22
＜学生コメント抜粋＞	
【2】 「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)	… P24
＜学生コメント抜粋＞	
【3】 学生コメント内でよく見られたキーワード	… P26
(参考) 意思に反した就職活動終了の要求や、就職活動の妨げになる拘束	
(参考) 就職活動実施者の就職活動の終了予定時期	

調査概要

- 調査目的** : 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する
- 調査方法** : インターネット調査
- 集計方法** : 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている
- 調査対象** : リクナビ2016会員の大学生および大学院生から、2015年1月14日～3月20日、2015年5月16日～5月30日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2016年3月卒業予定の男女6,965人（うち、大学生5,823人/大学院生1,142人）
- ※本資料は、**大学生のみのデータ**（P7の就職内定率のみ「大学院生・理系」を参考値として掲載）
- 調査期間** : 下表参照

【2016年卒】

調査時期	調査期間	集計対象		
		大学生	大学院生	
2015年	3月	2015年 3月 13日 ~ 23日	1,650人	477人
	4月	2015年 4月 3日 ~ 10日	1,448人	444人
	5月	2015年 5月 1日 ~ 11日	1,075人	383人
	6月	2015年 6月 2日 ~ 8日	1,268人	438人
	7月	2015年 7月 2日 ~ 8日	1,181人	442人
	8月	2015年 8月 3日 ~ 10日	1,205人	441人
	9月	2015年 9月 2日 ~ 8日	1,173人	461人
	10月	2015年 10月 2日 ~ 7日	1,128人	452人

【2015年卒】

調査時期	調査期間	集計対象		
		大学生	大学院生	
2014年	3月	2014年 3月 2日 ~ 10日	2,521人	776人
	4月	2014年 4月 2日 ~ 9日	2,101人	691人
	5月	2014年 5月 2日 ~ 12日	1,884人	659人
	6月	2014年 6月 2日 ~ 10日	1,612人	617人
	7月	2014年 7月 2日 ~ 10日	1,500人	585人
	8月	2014年 8月 2日 ~ 11日	1,423人	570人
	9月	2014年 9月 10日 ~ 19日	1,196人	522人
	10月	2014年 10月 2日 ~ 10日	1,338人	533人
	12月	2014年 12月 2日 ~ 9日	1,274人	543人
	2015年	2月	2015年 2月 2日 ~ 10日	1,265人
*3月		2015年 3月 16日 ~ 25日	1,272人	515人

*3月卒業時点

《用語の定義》 【時点:「当該月1日時点」】

- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験がない者
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定(内々定)の辞退経験がある者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者

《各率の算出方法》 【時点:「当該月1日時点」】

- 就職志望率 = 就職志望者数 ÷ 就職意向者数
- 就職活動実施率 = 就職活動実施者数 ÷ 就職志望者数
- 就職内定率 = 就職内定取得者数 ÷ 就職志望者数
- 就職内定辞退率 = 就職内定辞退者数 ÷ 就職内定取得者数

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

《その他》

- 2015年卒業予定や2016年卒業予定を「2015年卒」「2016年卒」と表記。
- グラフおよび表組の「各月1日」は「各月1日時点」の時点を省略。

調査結果 サマリー

I 章 3月1日時点から 10月1日時点の就職内定に関する状況

- 2016年卒学生の就職内定率は4月1日時点から9月1日時点の間、毎月12～16ポイント程度上昇していたが、2015年卒よりも低い水準で推移していた。しかし、10月1日時点では85.9%と同水準となった。(P4)
- 2016年卒学生の就職活動実施率は6月1日時点まで9割以上であった。その後8月1日時点まで徐々に低下したが、9月1日時点では30ポイント以上低下し37.5%となり、10月1日時点では23.7%と2015年卒の18.8%に近い水準となった。(P4)
- 2016年卒学生の内定取得の平均社数は、4月1日時点以降徐々に増加し10月1日時点で2.27社。複数社の内定を取得している学生の割合は8月1日時点で5割を超え、10月1日時点では61.6%であった。(P8)
- 2016年卒学生の8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望業種/企業規模を見ると、全体に比べて「金融業」や「5000人以上の規模」が多い傾向にあった。(P13)

II 章 2月から9月の就職活動や志望の状況

- 2016年卒学生が「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合において、「就職活動」が最も多かったのは3月であった。(P16)
- 2016年卒学生の志望業種(5分類・複数回答)を見ると、「情報・サービス業」が最も多く、次いで「製造業」であった。3月1日時点から8月1日時点の間、各業種を志望する学生の割合は減少したが、「金融業」は横ばいであった。(P18)
- 2016年卒学生の志望企業規模(複数回答)を見ると、「1000人未満」と回答する学生の割合は、3月1日時点から6月1日時点にかけて徐々に高まったのち、8月1日時点までは低下に転じた。その後は再度高まっている。「1000人以上」と回答する学生の割合は、3月1日時点から8月1日時点までは徐々に増えたが、9月1日時点以降は下降に転じ、10月1日時点では20.3%であった。(P20)

III 章 2月から9月の学生の心情

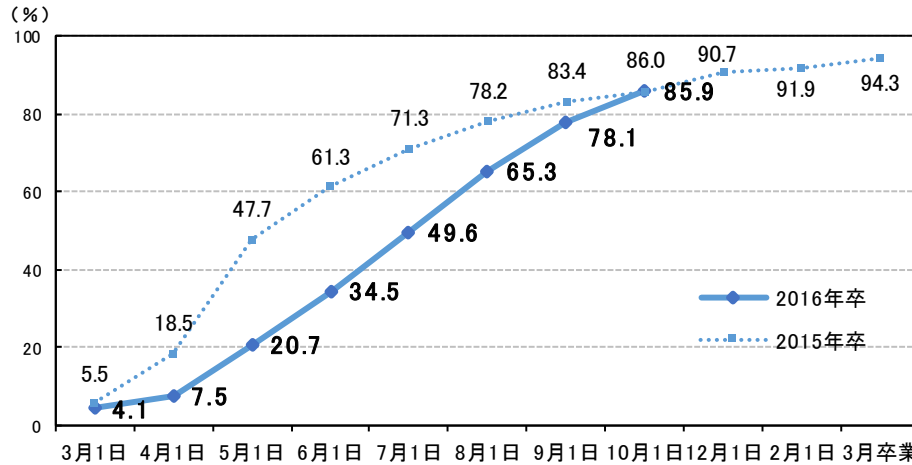
- 2016年卒学生の就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で尋ねたところ、その平均値が最も高かったのは3月であった。(P22)
- 2016年卒学生の「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)を見ると、「快晴」と回答した学生の割合は3月の5.8%から毎月増加し、9月は27.9%であったが、10月は25.4%と微減した。(P24)
- 「就職活動」や「卒業後の進路」に関するフリーコメントから頻出キーワードを抽出すると、「就職活動」が1位(2015年卒では3位)、「不安」が2位(2015年卒では1位)であった。(P26)

1章 3月1日時点から10月1日時点の就職内定に関する状況

【1】就職内定状況・就職活動実施率

● 2016年卒学生の就職内定率は4月1日時点から9月1日時点の間、毎月12～16ポイント程度上昇していたが、2015年卒よりも低い水準で推移していた。しかし、10月1日時点では85.9%と、2015年卒の86.0%と同水準となった。

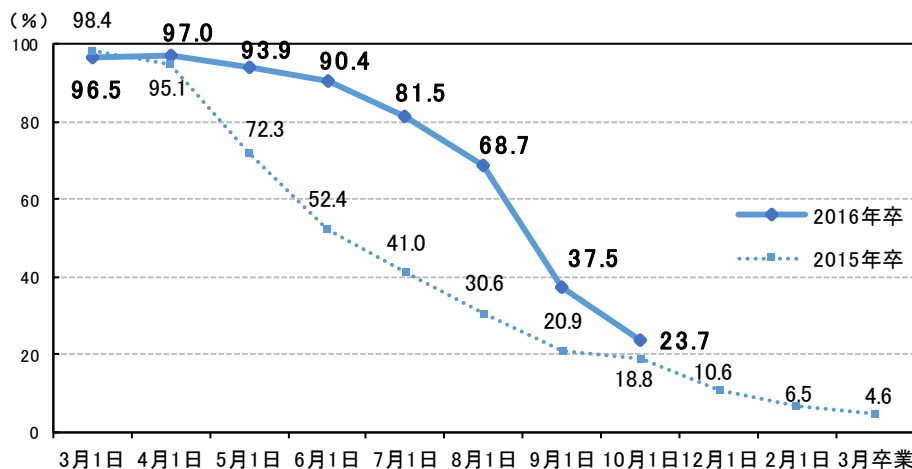
■就職志望者における就職内定率の推移（就職志望者/単一回答）



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2016年卒	4.1%	7.5%	20.7%	34.5%	49.6%	65.3%	78.1%	85.9%			
	2015年卒	5.5%	18.5%	47.7%	61.3%	71.3%	78.2%	83.4%	86.0%	90.7%	91.9%	94.3%
	前回差		3.4	13.2	13.8	15.1	15.7	12.8	7.8			
	前年同月差	-1.4	-11.0	-27.0	-26.8	-21.7	-12.9	-5.3	-0.1			

● 2016年卒学生の就職活動実施率は、6月1日時点まで9割以上であった。その後8月1日時点まで徐々に低下したが、9月1日時点では30ポイント以上低下し37.5%となり、10月1日時点では23.7%と2015年卒の18.8%に近い水準となった。

■就職志望者における就職活動実施率の推移（就職志望者/単一回答）

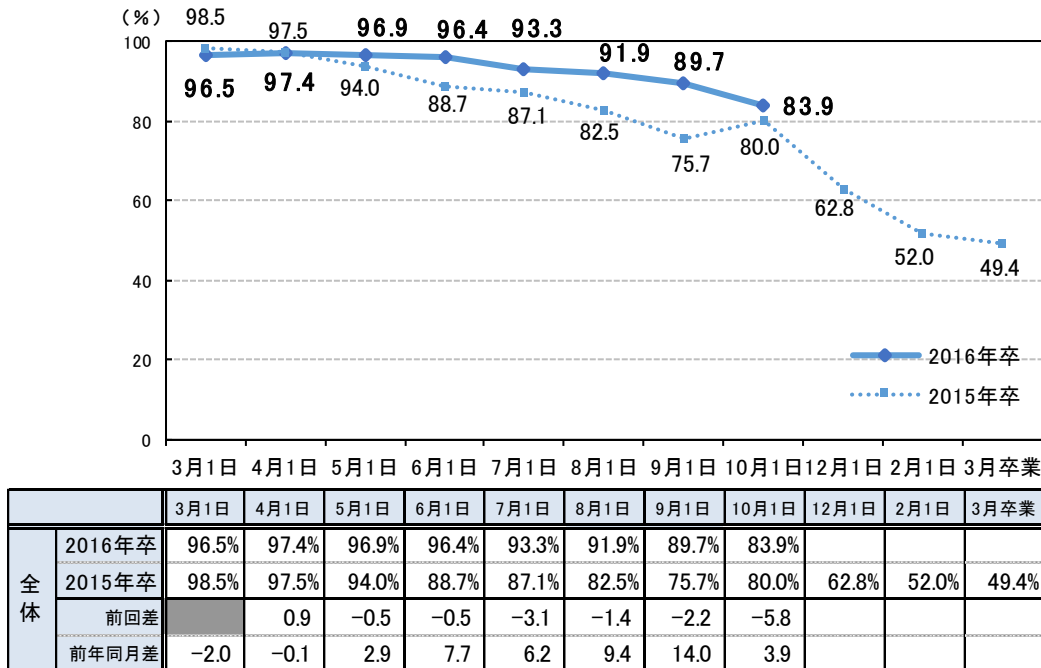


		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2016年卒	96.5%	97.0%	93.9%	90.4%	81.5%	68.7%	37.5%	23.7%			
	2015年卒	98.4%	95.1%	72.3%	52.4%	41.0%	30.6%	20.9%	18.8%	10.6%	6.5%	4.6%
	前回差		0.5	-3.1	-3.5	-8.9	-12.8	-31.2	-13.8			
	前年同月差	-1.9	1.9	21.6	38.0	40.5	38.1	16.6	4.9			

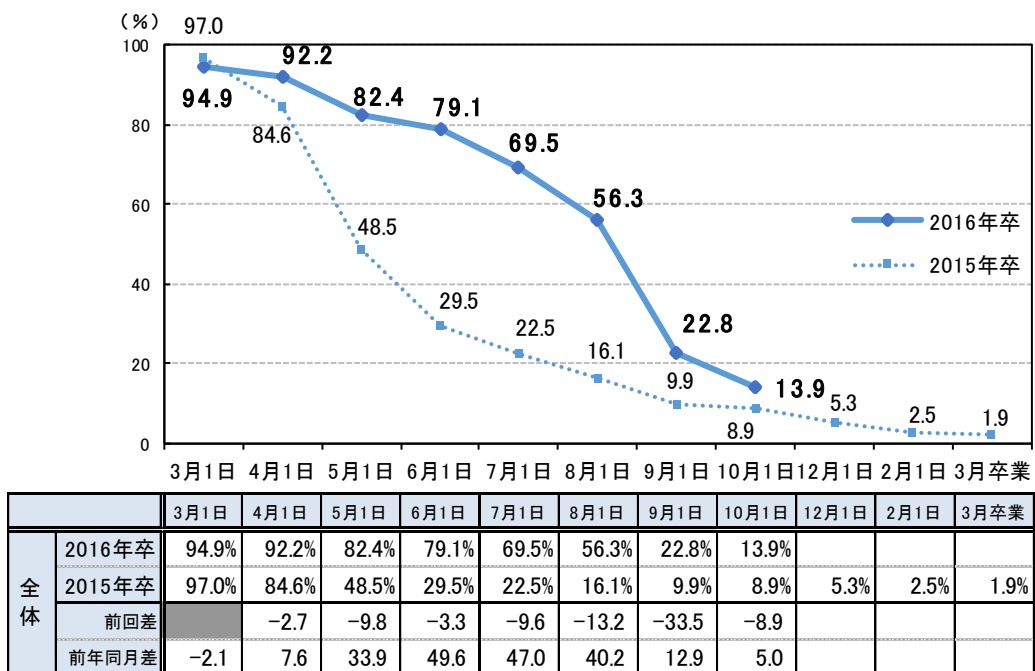
【2】内定未取得者と内定取得者の就職活動実施率

- 2016年卒学生の「内定未取得者」の就職活動実施率は、8月1日時点までは9割以上であったが、10月1日時点では83.9%となった。5月1日時点から10月1日時点まで、2015年卒より高い活動率で推移している。（上段グラフ参照）
- 「内定取得者」の就職活動実施率を見ると、2016年卒の活動率の低下は2015年卒に比べると緩やかで、8月1日時点でも56.3%と半数以上の学生が就職活動を実施（2015年卒同時期 +40.2ポイント）。2015年卒に比べ内定取得後も活動を実施している傾向が見られる。
9月1日時点では活動率は大きく低下し22.8%となり、10月1日時点では13.9%であった。

■内定未取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定未取得者/単一回答）



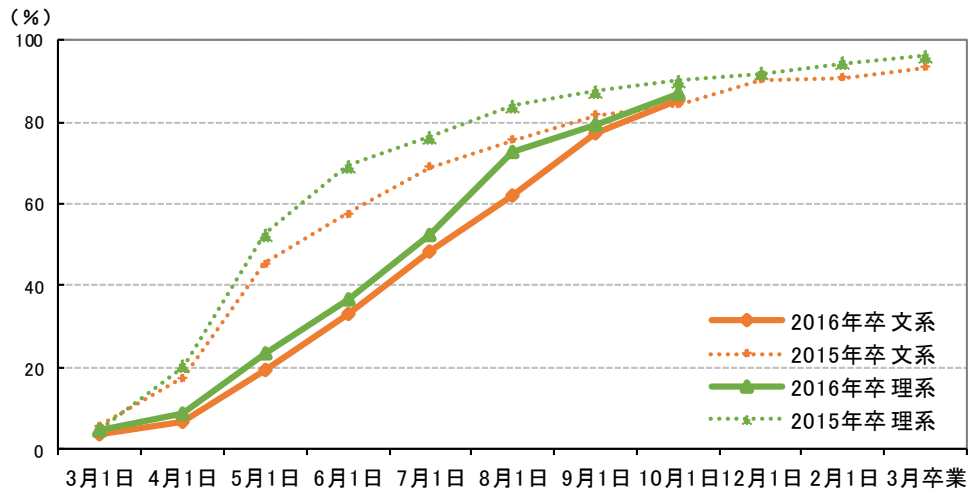
■内定取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定取得者/単一回答）



◀属性別データ▶ ■就職志望者における内定率の推移 属性別（就職志望者/単一回答）

□文系・理系別

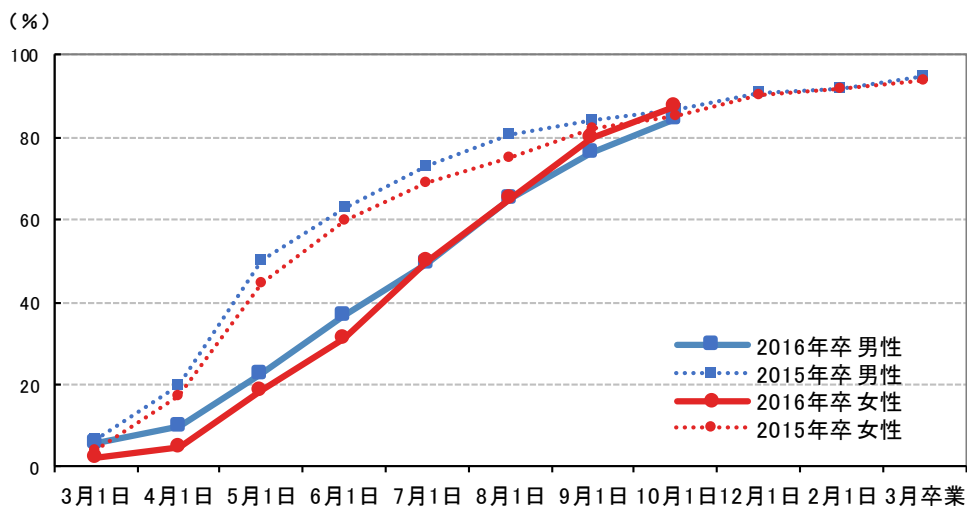
- 2016年卒は、10月1日時点までの間、文系・理系の差が小さく、差が大きかったのは8月1日時点のみであった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
文系	2016年卒	3.9%	6.9%	19.4%	33.3%	48.3%	61.8%	77.4%	85.5%			
	2015年卒	5.8%	17.6%	45.3%	57.6%	69.0%	75.5%	81.6%	84.2%	90.3%	90.9%	93.4%
理系	2016年卒	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%	87.0%			
	2015年卒	4.9%	20.4%	52.6%	69.2%	76.4%	84.1%	87.5%	90.1%	91.8%	94.3%	96.2%

□男性・女性別

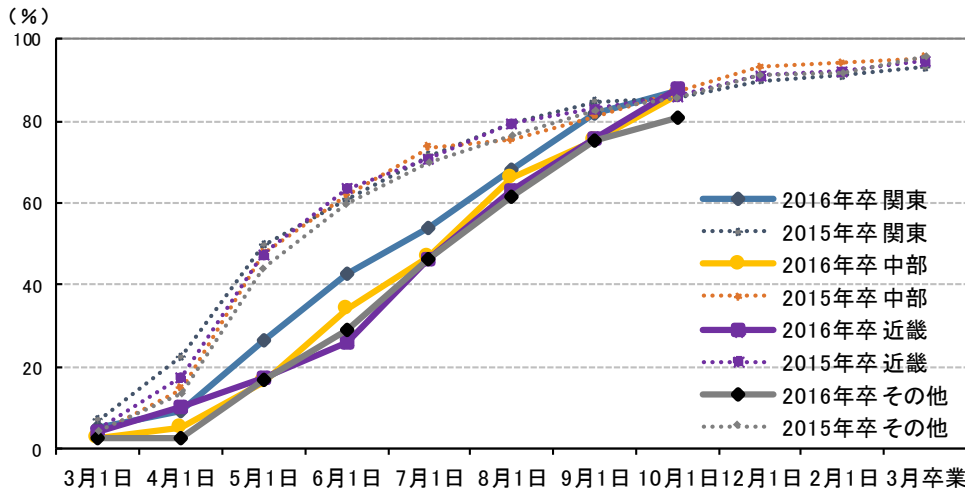
- 2016年卒は、6月1日時点まで男性の内定率が高かったが、7月1日時点～8月1日時点では同水準、9月1日時点以降では女性の方が高かった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
男性	2016年卒	5.6%	9.7%	22.6%	36.9%	49.5%	65.3%	76.4%	84.6%			
	2015年卒	6.6%	19.5%	50.1%	62.7%	73.1%	80.6%	84.3%	86.7%	91.0%	92.0%	94.6%
女性	2016年卒	2.3%	4.8%	18.4%	31.4%	49.7%	65.3%	80.1%	87.7%			
	2015年卒	4.1%	17.2%	44.6%	59.6%	69.1%	75.3%	82.4%	85.2%	90.4%	91.8%	93.9%

□地域別

● 2016年卒は、関東の内定率がそれ以外の地域より、高めに推移している。



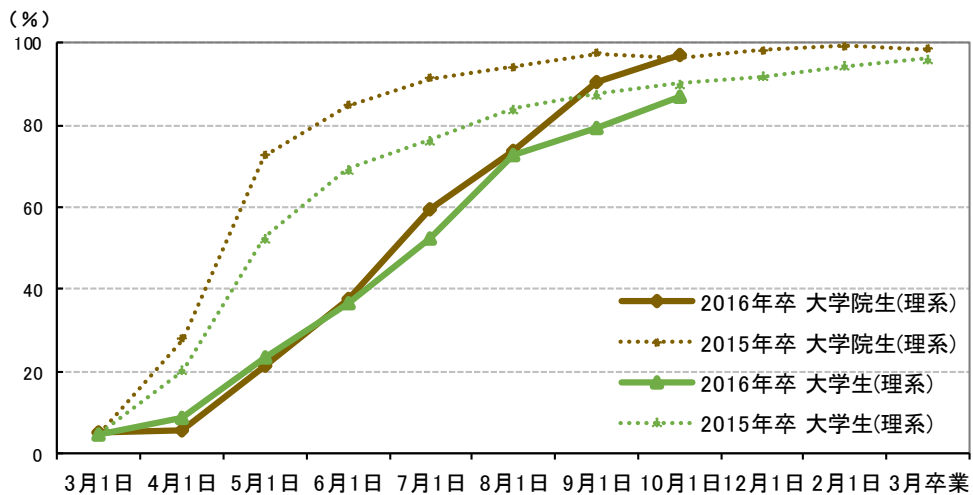
		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
関東	2016年卒	5.4%	9.2%	26.5%	42.7%	54.1%	68.3%	82.0%	87.3%			
	2015年卒	7.0%	22.7%	49.7%	60.8%	71.6%	79.4%	84.8%	85.8%	89.7%	91.2%	93.0%
中部	2016年卒	2.8%	5.0%	16.4%	34.0%	46.7%	66.3%	75.0%	86.4%			
	2015年卒	3.7%	14.8%	47.6%	61.8%	73.6%	75.4%	81.3%	86.9%	93.1%	94.2%	95.5%
近畿	2016年卒	4.0%	10.1%	17.2%	26.0%	46.5%	63.2%	75.6%	87.9%			
	2015年卒	4.7%	17.4%	47.4%	63.4%	70.7%	79.3%	82.9%	86.0%	91.1%	92.2%	94.7%
その他	2016年卒	2.5%	2.9%	16.7%	29.0%	46.3%	61.4%	75.4%	80.9%			
	2015年卒	4.5%	13.4%	44.1%	59.7%	70.1%	76.5%	82.7%	85.8%	91.0%	91.6%	95.6%

※「その他」は「その他地域」

[参考値]

□大学院生・理系

● 2016年卒の大学院生・理系の内定率は、3月1日時点から8月1日時点まで大学生・理系と近い水準で推移してきたが、9月1日時点以降では、大学生・理系より高くなった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
院大	2016年卒	5.0%	5.5%	21.2%	37.9%	59.3%	73.5%	90.6%	96.8%			
	2015年卒	4.8%	28.0%	72.6%	84.8%	91.4%	94.2%	97.4%	96.3%	98.2%	99.2%	98.5%
大再掲)	2016年卒	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%	87.0%			
	2015年卒	4.9%	20.4%	52.6%	69.2%	76.4%	84.1%	87.5%	90.1%	91.8%	94.3%	96.2%

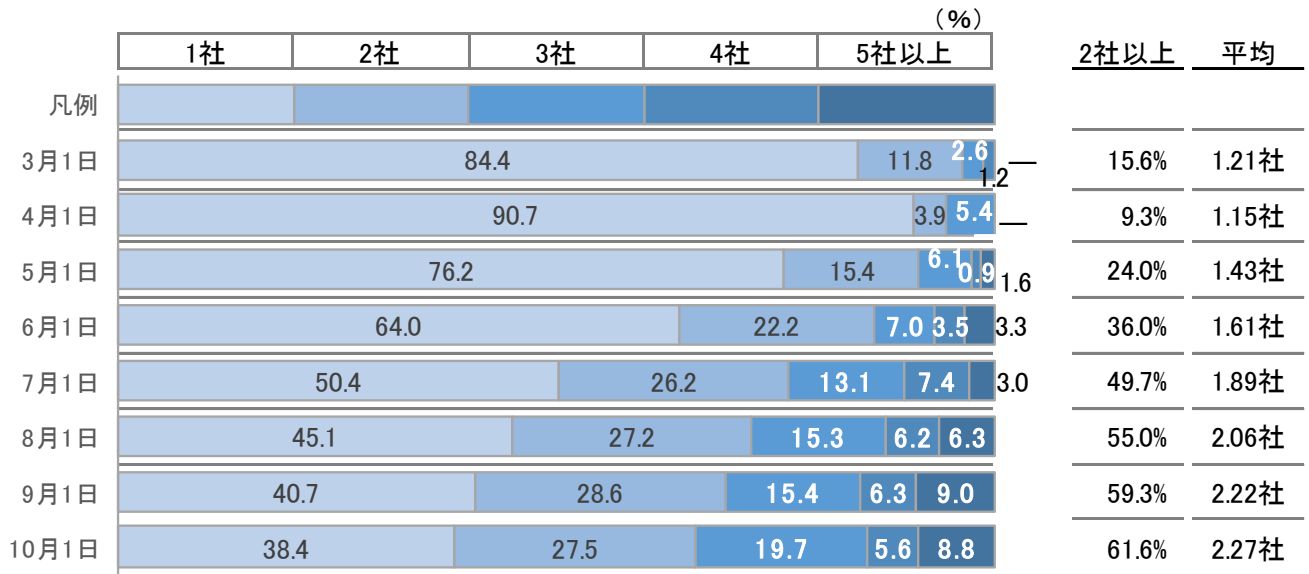
※「再掲)大学生」は「大学生・理系」

【3】内定取得社数

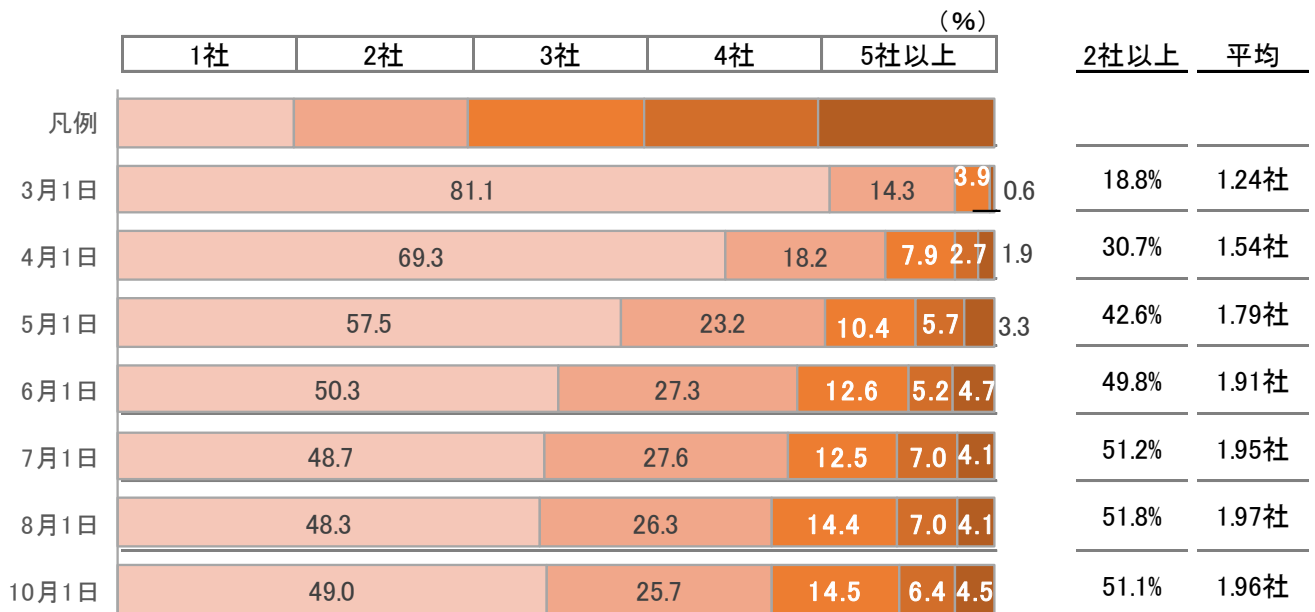
- 2016年卒学生の内定取得社数の平均値は、4月1日時点以降徐々に増加し10月1日時点で2.27社であった。複数社の内定を取得している学生の割合は8月1日時点で5割を超え、10月1日時点では61.6%であった。
- 2015年卒は、3月1日時点から6月1日時点にかけて内定取得社数が増加し、その後2社弱で推移した。複数社の内定を取得している学生の割合は、6月1日時点以降5割前後で推移した。

■内定取得社数の推移_内訳(就職志望者・内定取得者/実数回答)

□2016年卒



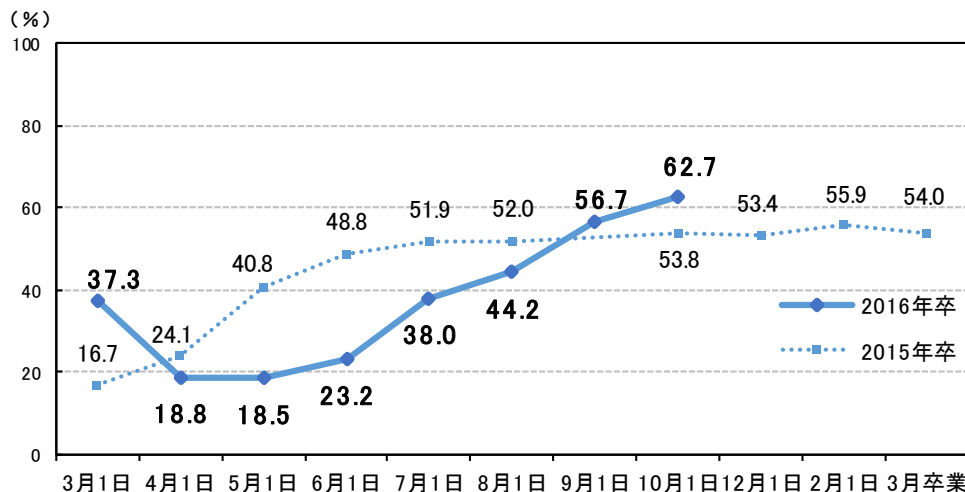
□2015年卒



【4】内定を辞退したことのある学生の割合

- 2016年卒学生の「内定を辞退したことのある学生の割合」は、4月1日時点から6月1日時点までは2割前後で推移。その後上昇し、10月1日時点では62.7%となった。
- 2015年卒学生は、3月1日時点から6月1日時点の間で徐々に増加し、その後5割以上で推移した。

■内定を辞退したことのある学生の割合（就職志望者・内定取得者／単一回答）



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2016年卒	37.3%	18.8%	18.5%	23.2%	38.0%	44.2%	56.7%	62.7%			
	2015年卒	16.7%	24.1%	40.8%	48.8%	51.9%	52.0%		53.8%	53.4%	55.9%	54.0%
	前回差		-18.5	-0.3	4.7	14.8	6.2	12.5	6.0			
	前年同月差	20.6	-5.3	-22.3	-25.6	-13.9	-7.8		8.9			

■平均内定辞退社数（就職志望者・内定辞退者／実数回答）

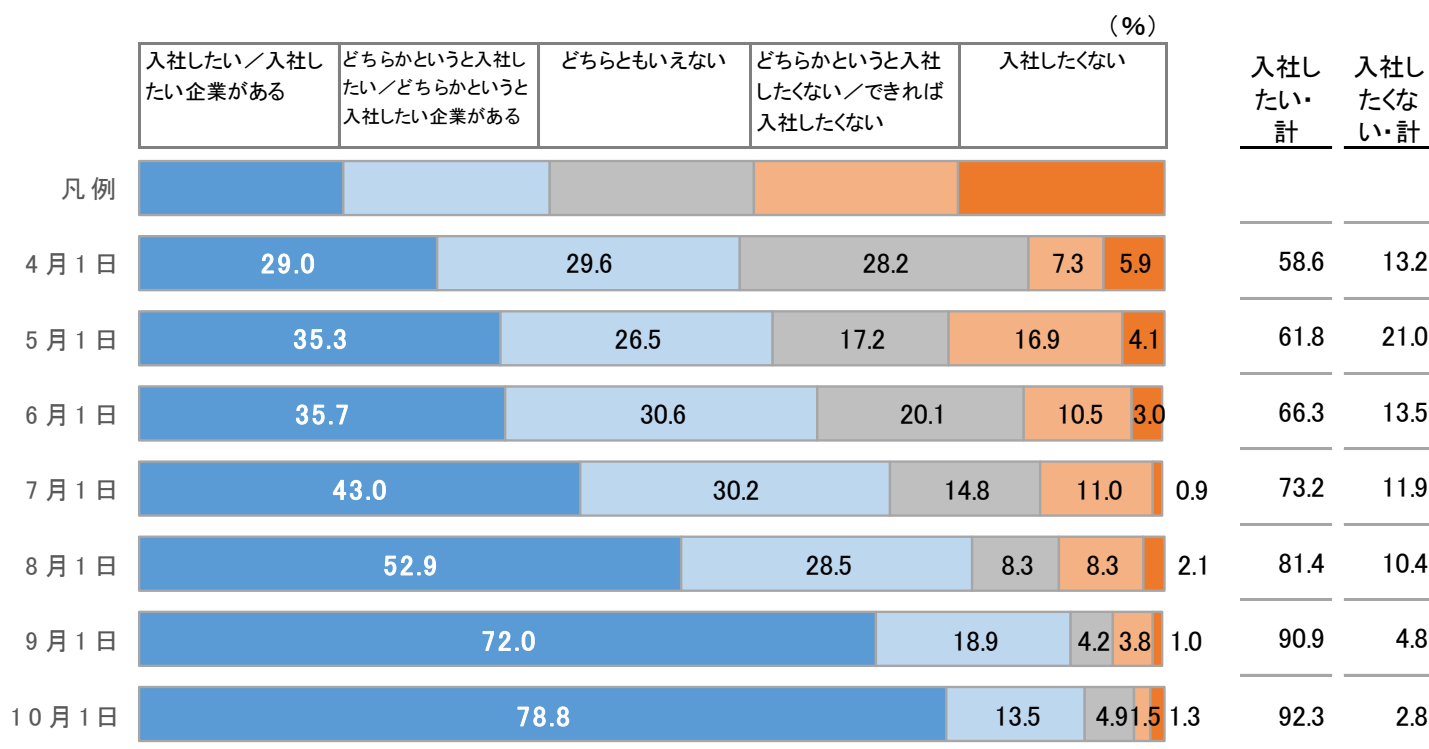
		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2016年卒	※1.18社	1.50社	1.83社	1.46社	1.54社	1.67社	1.98社	2.03社			
	2015年卒	※1.16社	1.61社	1.73社	1.75社	1.80社	1.83社		1.87社	1.90社	1.87社	1.86社
	前回差		0.32	0.33	-0.37	0.08	0.13	0.31	0.05			
	前年同月差	0.02	-0.11	0.10	-0.29	-0.26	-0.16		0.16			

注)※が付いているものは、回答数が少ないため、参考データとして参照

【5】内定先企業への入社意向

- 2016年卒学生の内定先企業への入社意向を尋ねると、「入社したい／入社したい企業がある」と答えた学生は、4月1日時点で29.0%、「どちらかというに入社したい／どちらかというに入社したい企業がある」を加えた「入社したい・計」は58.6%であった。
その後入社意向を示す学生の割合は徐々に高まり、10月1日時点で「入社したい／入社したい企業がある」は78.8%、「入社したい・計」は92.3%であった。

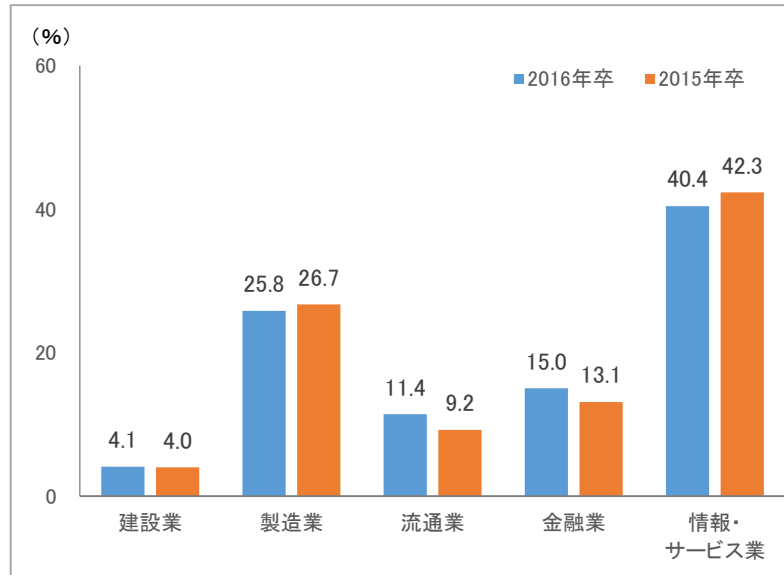
■内定先企業への入社意向(就職志望者、1社以上内定保有者／単一回答)



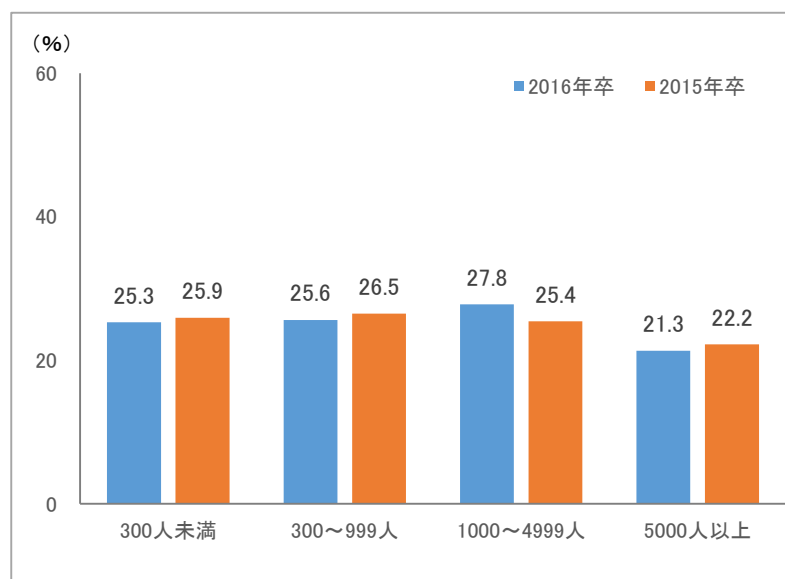
【6】 10月1日時点での就職確定先業種、従業員規模

- 2016年卒学生の10月1日時点での就職確定先業種は、「情報・サービス業」が40.4%と最も多く、次いで「製造業」が25.8%であった。
- 2016年卒学生の就職確定先従業員規模は、「1000～4999人」が27.8%で最も多かった。

■10月1日時点での就職確定先業種 (民間企業への就職先確定者/単一回答)



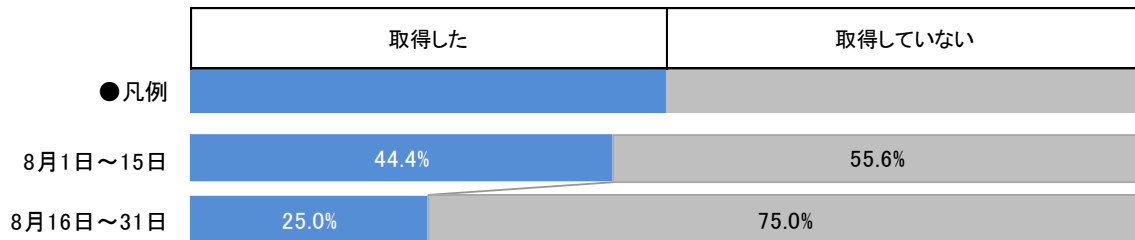
■10月1日時点での就職確定先従業員規模 (民間企業への就職先確定者/単一回答)



(参考) 8月の間の内定(内々定)状況、内定先企業の業種、従業員規模、入社意向

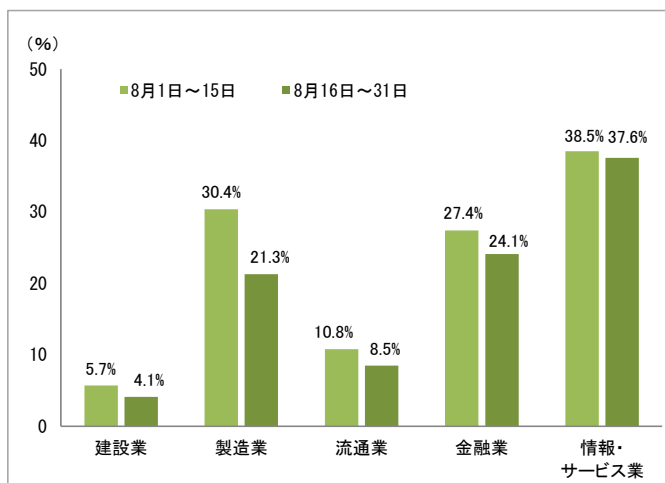
- 9月1日時点の内定取得者のうち、8月1日～15日に内定を取得した人の割合は44.4%、8月16日～31日は25.0%であった。
- 内定先企業の業種は、8月1日～15日の間は「情報・サービス業」が38.5%で最も多く、次いで「製造業」の30.4%であった。8月16日～31日の間は「情報・サービス業」が37.6%で最も多く、次いで「金融業」の24.1%であった。
- 内定先企業の従業員規模は、8月1日～15日の間は「5000人以上」が40.2%で最も多く、次いで「1000～4999人」の34.2%であった。8月16日～8月31日の間は「300～999人」が32.6%で最も多く、次いで「1000～4999人」の32.0%であった。
- 8月中に取得した内定先への入社意向を尋ねると、8月1日～8月15日では64.8%、8月16日～8月31日では59.9%が、それぞれ「入社したい/入社したい企業がある」と回答した。

■9月1日時点の内定取得者のうち、8月1日～15日および8月16日～31日における内定取得有無 (就職志望者/単一回答)

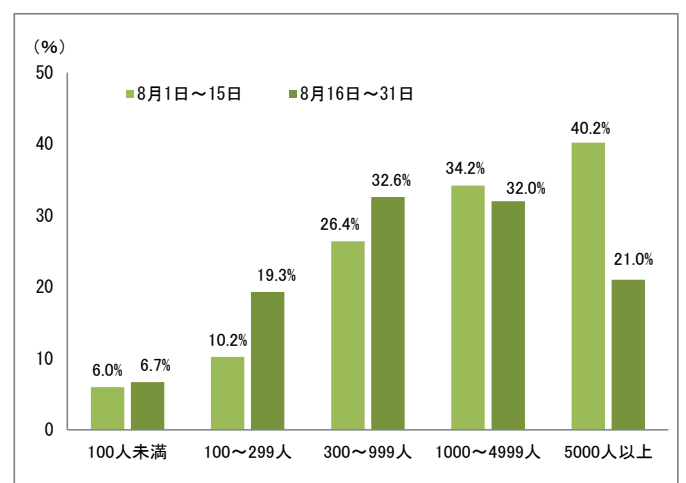


■8月1日～15日および8月16日～31日における内定取得先企業の業種、従業員規模 (就職志望者・内定取得者/複数回答)

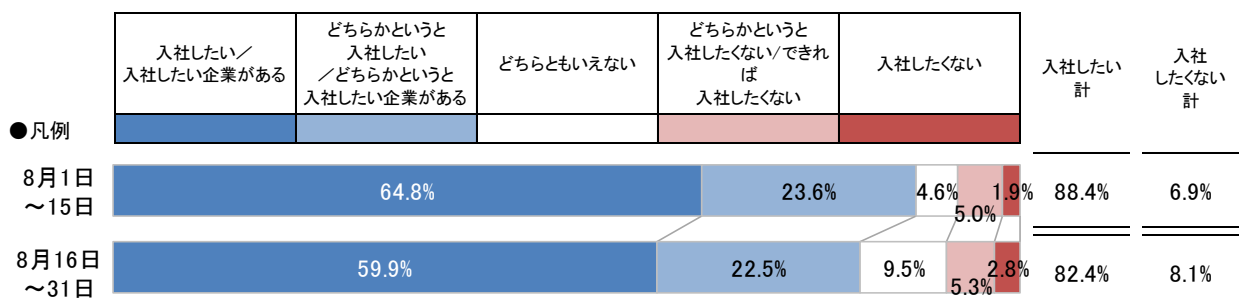
□内定取得先企業の業種



□内定取得先企業の従業員規模



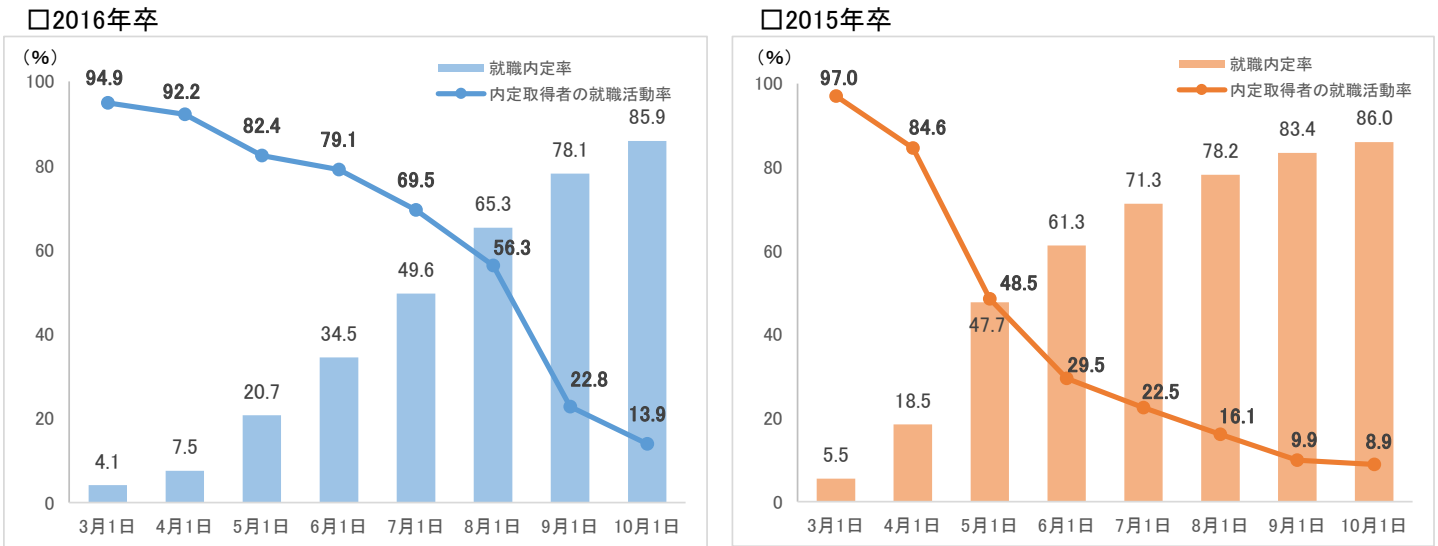
■8月1日～15日および8月16日～31日における内定取得先企業への入社意向 (就職志望者・内定取得者/単一回答)



【7】「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴

● 2016年卒学生の内定取得者の就職活動実施率を2015年卒のそれと比較すると、8月1日時点までかなりの高水準で推移したが、9月1日時点で低下し10月1日時点では13.9%となった。

■ 内定率(就職志望者)と就職活動実施率の推移(就職志望者・内定取得者)



● 8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴を明らかにするため、3月1日時点の就職活動実施者の志望状況(≒学生全体の志望状況)と、8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望状況を比較したのが下のグラフである。

《志望業種の特徴》

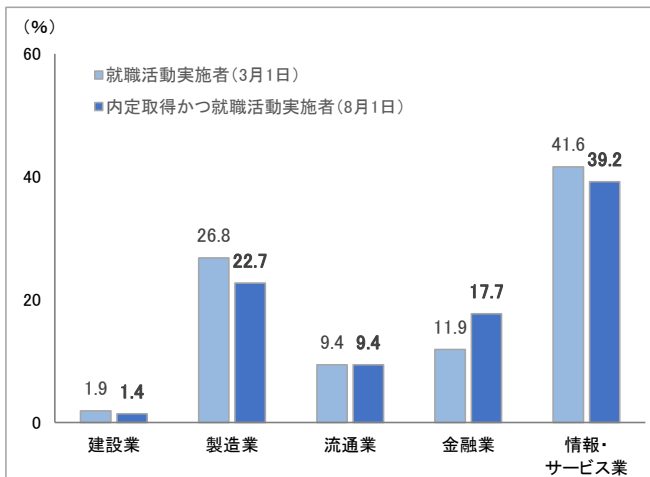
8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望業種を、3月1日時点の就職活動実施者(≒学生全体の志望状況)と比較すると、「金融業」の割合が5.8ポイント高い。

《志望する企業規模の特徴》

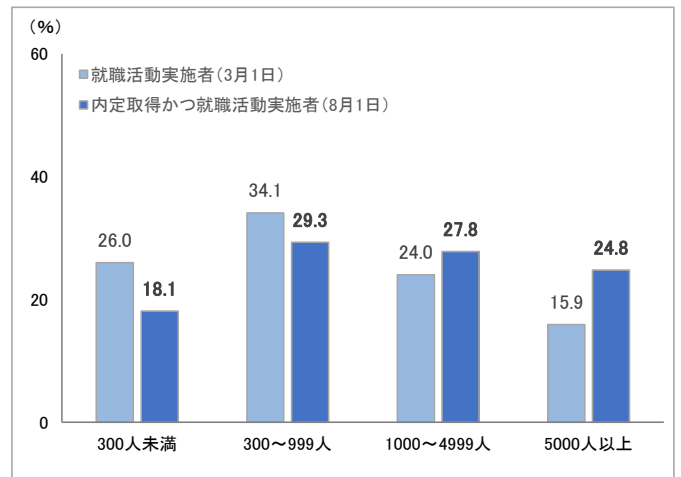
8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望する企業規模を、3月1日時点の就職活動実施者(≒学生全体の志望状況)と比較すると、「5000人以上」の割合が8.9ポイント高い。

■ 3月1日時点の「就職活動実施者」の志望状況と、8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望状況 (単一回答)

□志望業種



□志望する企業規模



II章 2月から9月の就職活動や志望の状況

【1】就職活動プロセス毎の実施状況

- 2016年卒学生の、就職活動プロセス毎に実施した学生の割合を月別に見ていく。
(各活動プロセス毎の推移は次ページ参照)

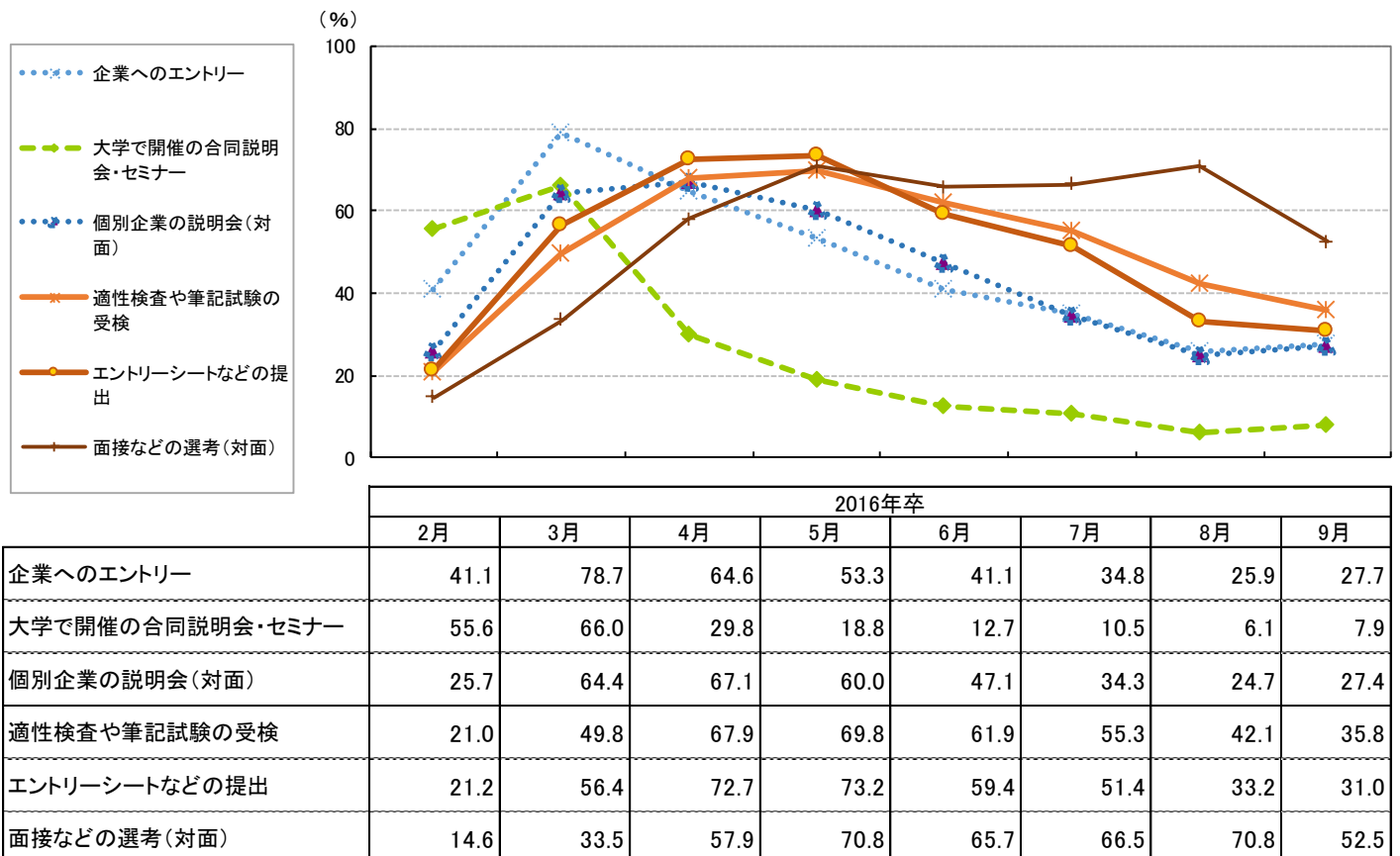
2月:「大学で開催の合同説明会・セミナー」に参加した学生が、55.6%と最も多かった。
「エントリーシートなどの提出」や「適性検査や筆記試験の受検」も2割を超えていた。

3月:「企業へのエントリー(78.7%)」が最も多くなり、次いで「個別企業の説明会(対面)」(64.4%)や「大学で開催の合同説明会・セミナー」(66.0%)を通じた企業との接触が増加している。
また、「エントリーシートなどの提出」や「適性検査や筆記試験の受検」の実施者も5割程度となった。

4月・5月:「エントリーシートなどの提出」「適性検査や筆記試験の受検」「個別企業の説明会(対面)」を7割近くが実施。
「面接などの選考(対面)」は4月中で57.9%、5月中には7割以上の学生が実施している。

6月～8月:「面接などの選考(対面)」は6割～7割程度で推移、他の活動プロセスの実施者割合は徐々に減っている。
9月:「面接などの選考(対面)」が5割程度まで減少した一方、「企業へのエントリー」「個別企業の説明会(対面)」はともに3割弱で、8月に比べやや増加した。

■就職活動プロセス毎の実施状況(就職活動実施者/複数回答)



※ コメントおよびグラフ・表組上では、質問内容を省略している。詳細は下記の通り。

「企業へのエントリー」=「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」

「大学で開催の合同説明会・セミナー」=「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」

「個別企業の説明会(対面)」=「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した」

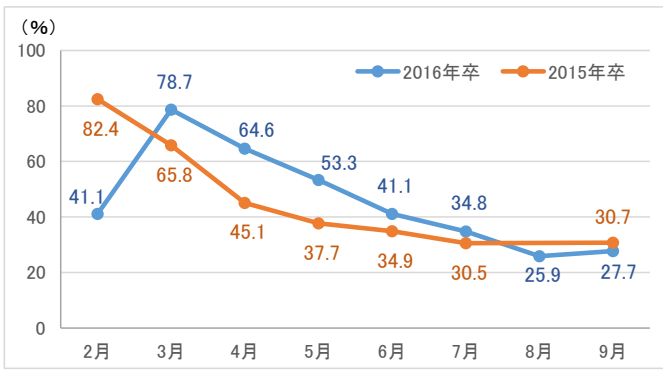
「適性検査や筆記試験の受検」=「適性検査や筆記試験を受けた」

「エントリーシートなどの提出」=「エントリーシートなどの書類を提出した」

「面接などの選考(対面)」=「面接など対面での選考を受けた」

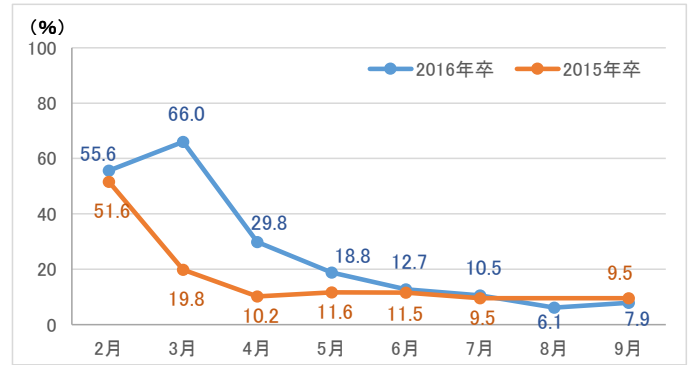
■各活動プロセス毎の実施者割合の推移

《 企業へのエントリー 》



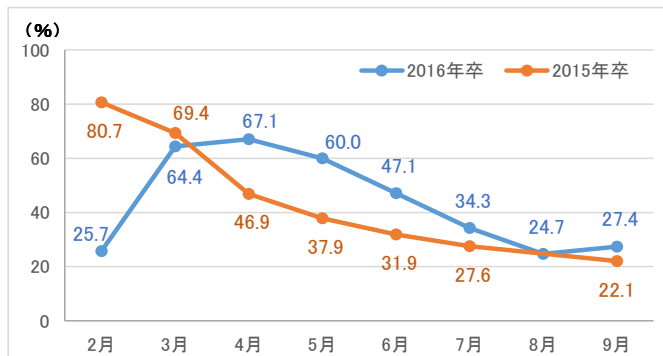
● 「企業にエントリー」をした学生の割合は3月に78.7%で、その後徐々に減少。9月は27.7%であった。

《 大学で開催の合同説明会・セミナー 》



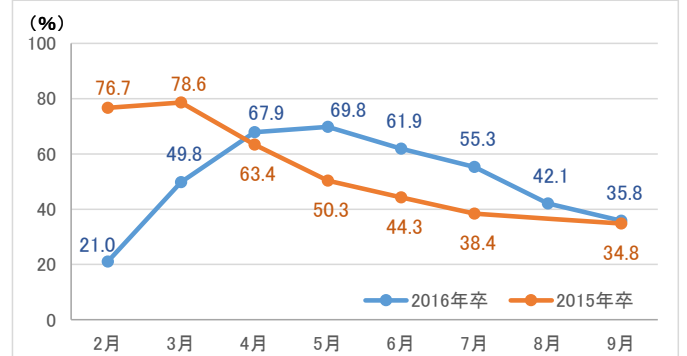
● 「大学で開催の合同説明会・セミナー」へ参加した学生の割合は、2月・3月に5割以上であった。その後減少し、5月以降は2割以下、9月には7.9%となった。

《 個別企業の説明会(対面) 》



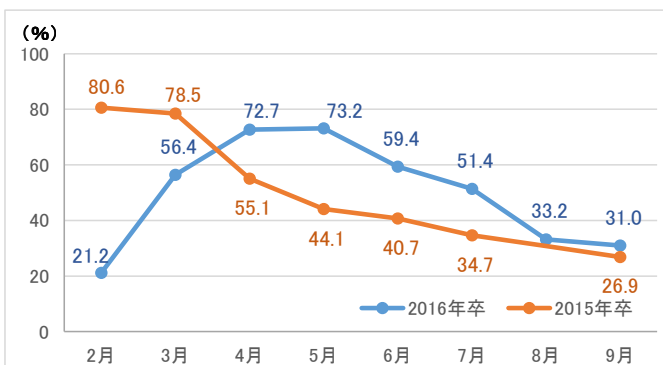
● 「個別企業の説明会(対面)」へ参加した学生は、3月から5月の間6割以上であった。

《 適性検査や筆記試験の受検 》



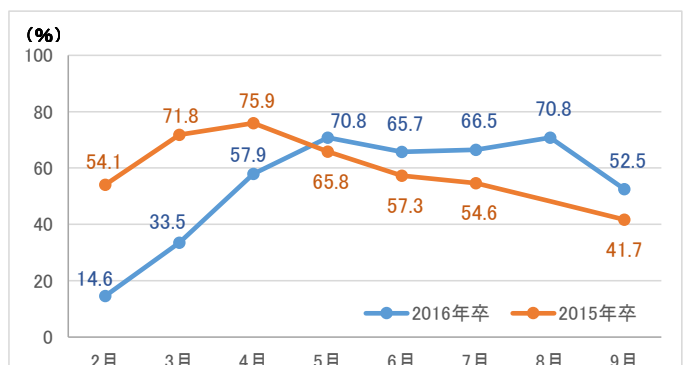
● 「適性検査や筆記試験の受検」は3月で5割弱、その後の4月から6月は6割強であった。

《 エントリーシートなどの提出 》



● 「エントリーシートなどの提出」は3月に5割を超え、4月・5月には7割を超えた。その後も7月まで5割以上で推移した。

《 面接などの選考(対面) 》



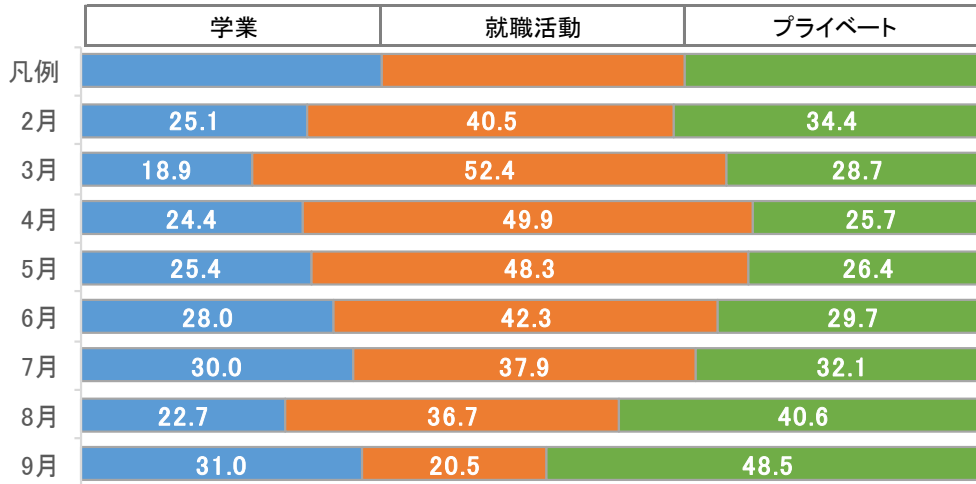
● 「面接などの選考(対面)」は、2月以降徐々に増加し5月で7割を超えた。

【2】「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合

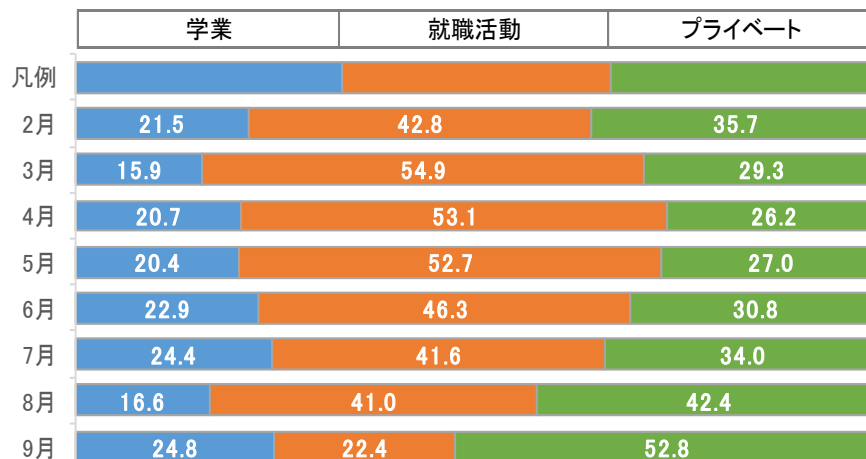
- 就職を志望する2016年卒学生の各月の時間を「100」とした場合の、「学業／就職活動／プライベート」の割合を尋ねた結果、下図のようになった。
- 「就職活動」が占める割合が最も多いのは3月で、52.4であった。その後徐々に「就職活動」が占める割合は減少し、7月以降は4割を下回っている。
- 文・理系での差を見ると、理系学生は「学業」が占める割合が大きかった。

■「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合の推移(就職志望者／実数回答)

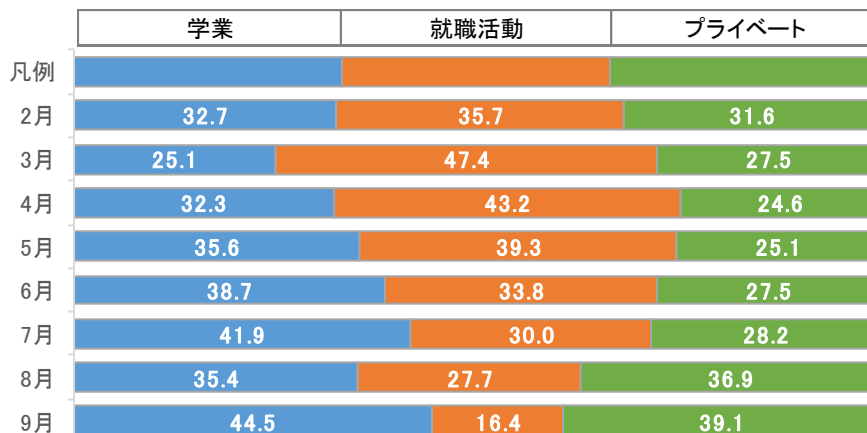
□全体



□文系



□理系



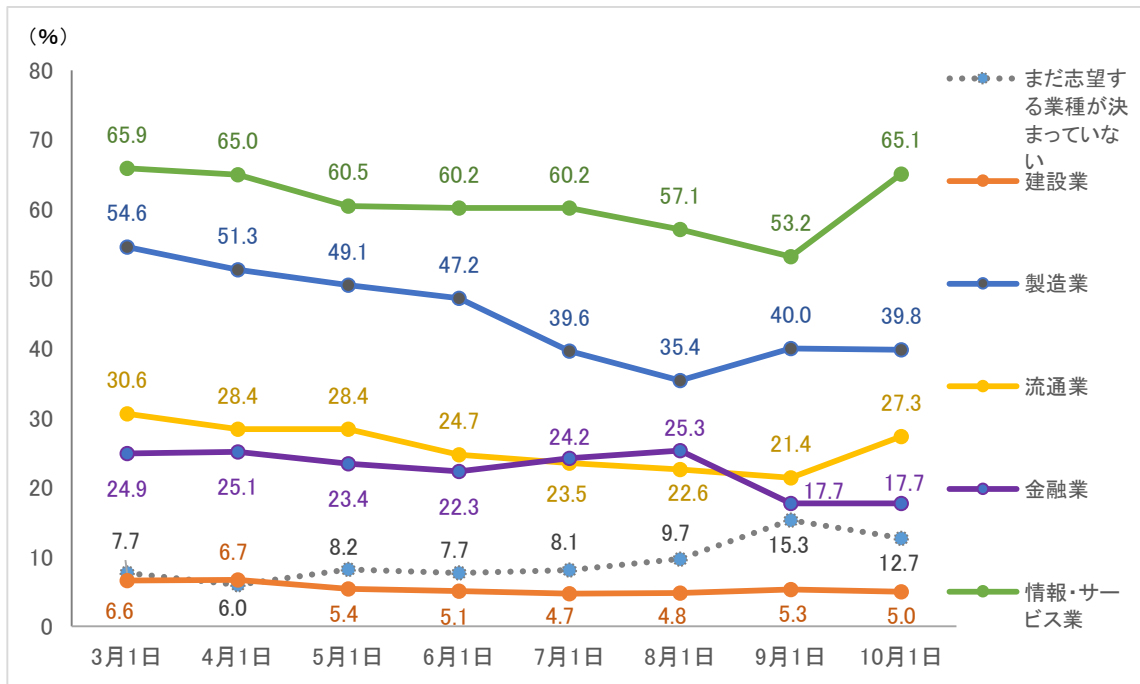
見開きの調整のためのページです。
落丁ではありません。

【3】就職志望状況<志望業種>

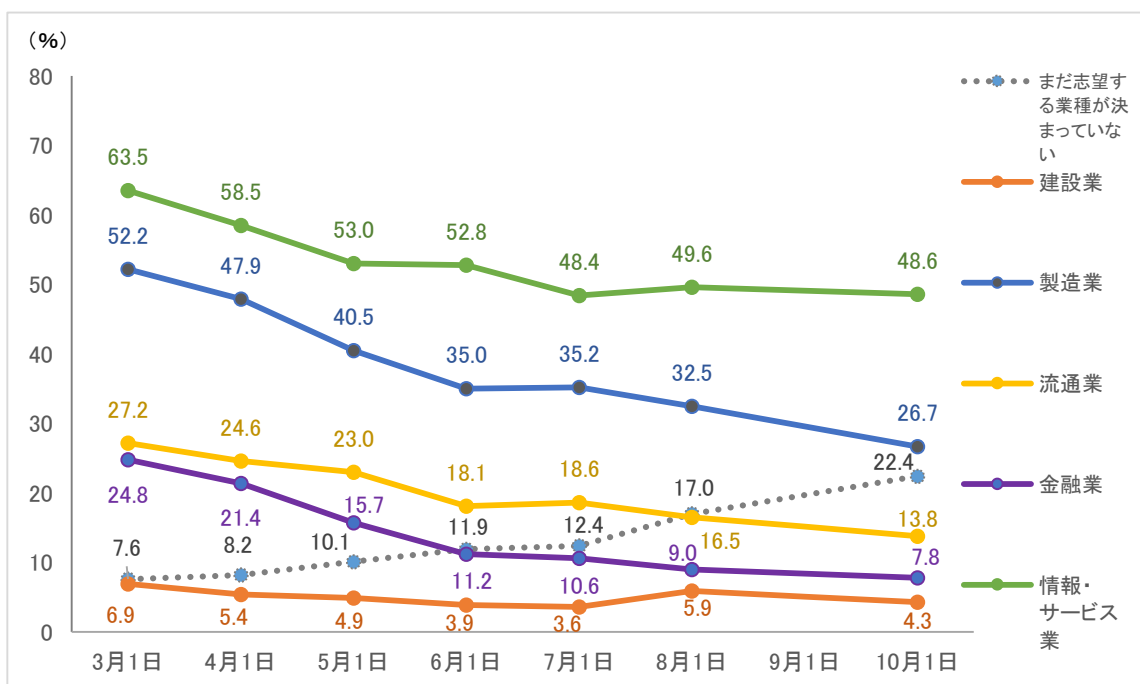
- 2016年卒学生の志望業種(5分類・複数回答)を見ると、「情報・サービス業」が最も多く、次いで「製造業」であった。8月1日時点までの変化を見ると、各業種を志望する学生の割合は減少したが、「金融業」は横ばいであった。その後10月1日時点までの変化を見ると、「金融業」が下がり、「製造業」「まだ志望する業種が決まっていない」が上がった。
- 2015年卒学生の状況を見ると、2016年卒学生に比べ3月1日時点から10月1日時点の間で、志望割合の低下傾向がより見られた。

■就職志望先業種 (就職活動実施者/複数回答)

□2016年卒



□2015年卒

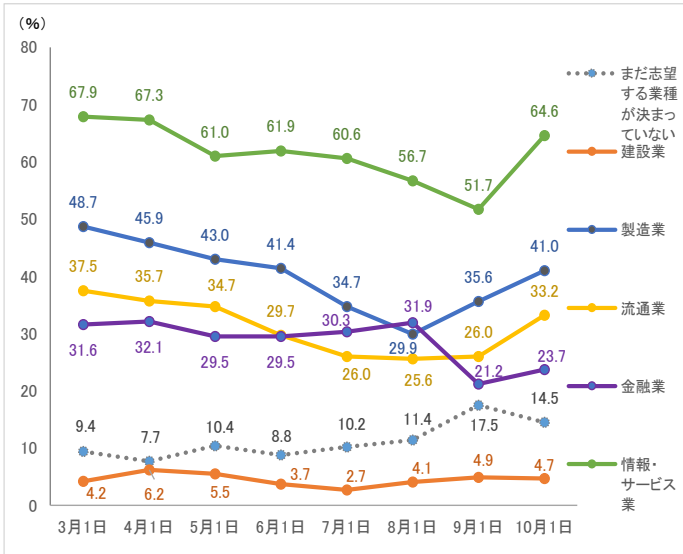


《属性別データ》

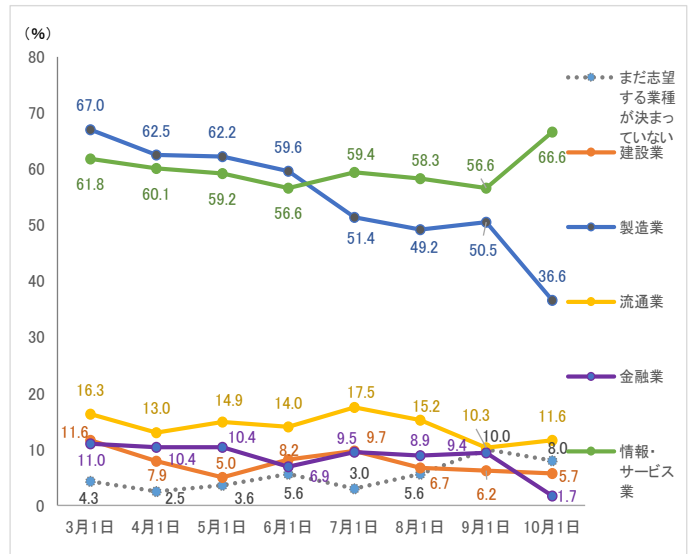
■就職志望先業種（就職活動実施者/複数回答）

□2016年卒

<文系>

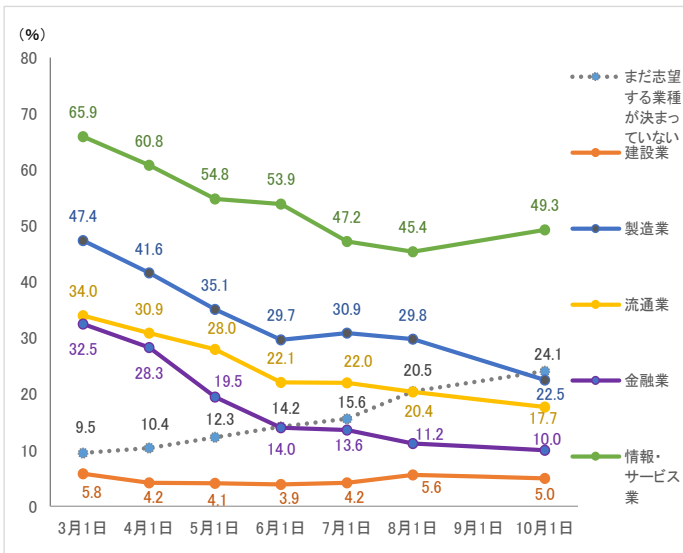


<理系>

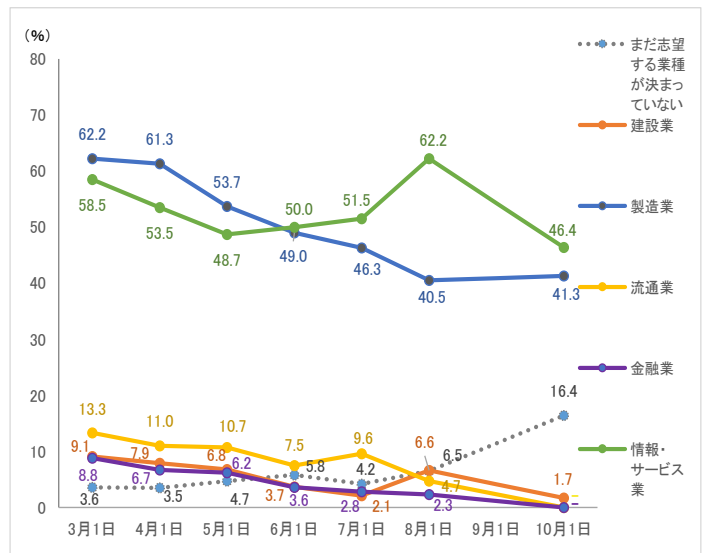


□2015年卒

<文系>



<理系>

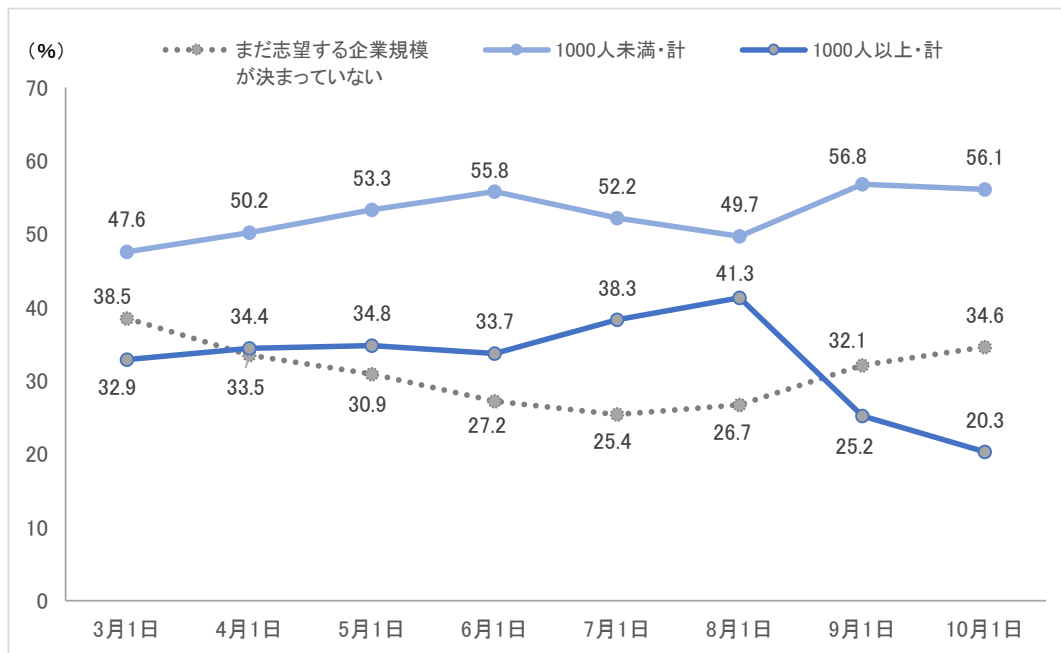


【4】就職志望状況<志望企業規模>

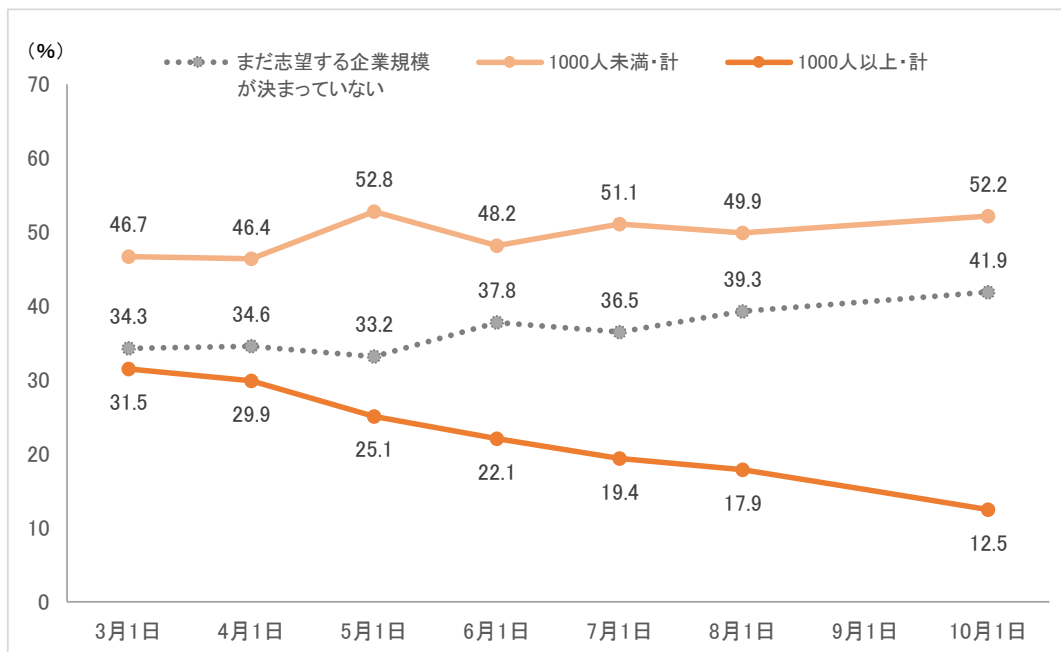
- 2016年卒学生の志望企業規模(複数回答)を見ると、「1000人未満」と回答する学生の割合は、3月1日時点から6月1日時点にかけて徐々に高まったのち、8月1日時点までは低下に転じた。その後、再度高まっている。「1000人以上」と回答する学生の割合は、3月1日時点から8月1日時点までは徐々に増えたが、9月1日時点以降は下降に転じ、10月1日時点では20.3%であった。
- 2015年卒学生の「1000人未満」への志望は、5割前後で推移していた。「1000人以上」への志望者は3月1日時点は2016年卒学生と同水準であったが徐々に減り、10月1日時点では12.5%と2016年卒の方が7.8ポイント高かった。

■就職志望先 企業規模 (就職活動実施者/複数回答)

□2016年卒



□2015年卒

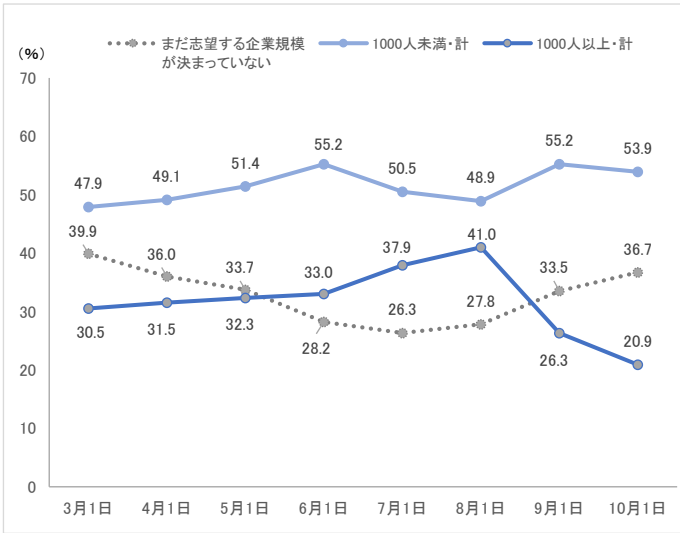


《属性別データ》

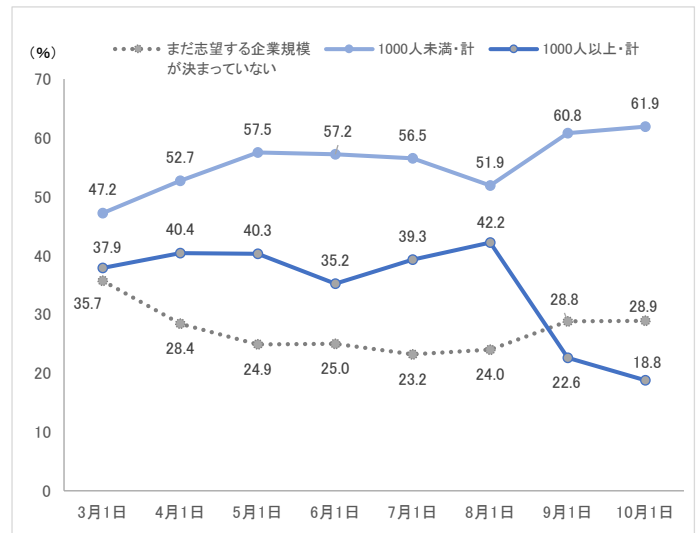
■就職志望先 企業規模 (就職活動実施者/複数回答)

□2016年卒

<文系>

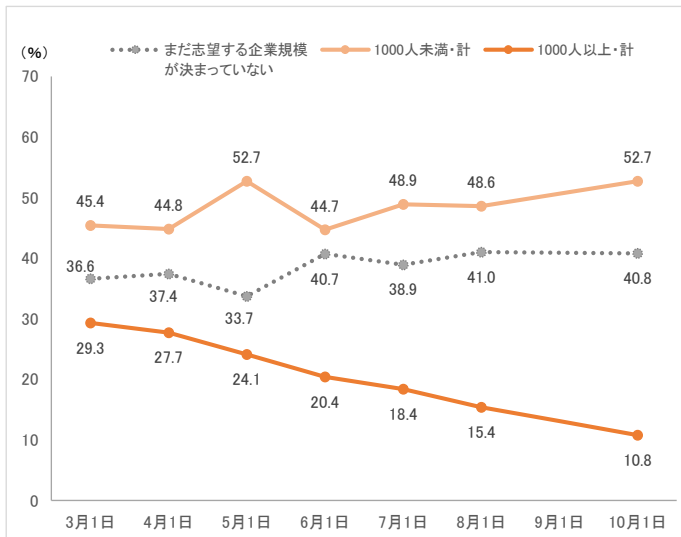


<理系>

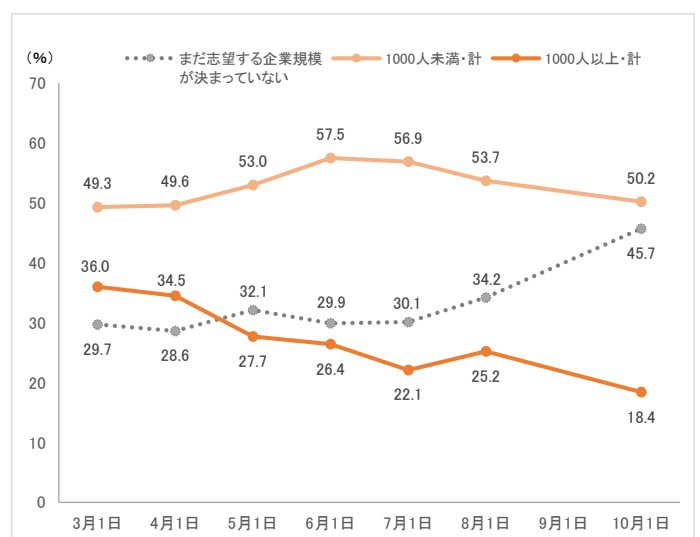


□2015年卒

<文系>



<理系>



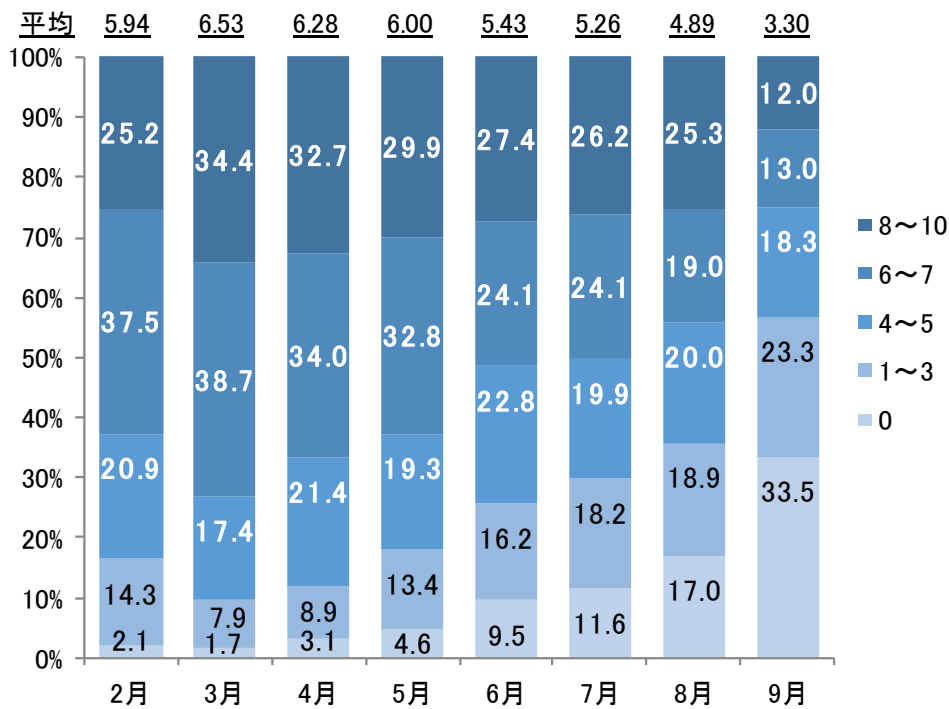
Ⅲ章 2月から9月の学生の心情

【1】「就職活動」に対する気持ちの高まり度

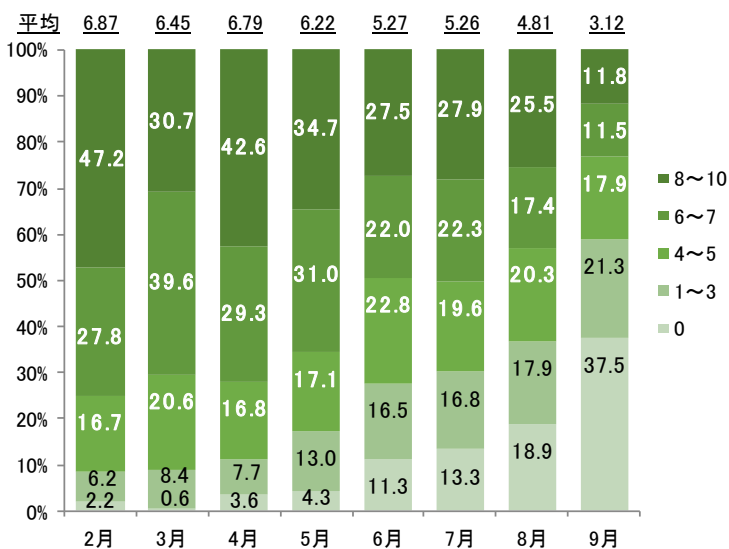
- 2016年卒学生の就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で学生の尋ねた結果、その平均値が最も高かったのは3月(6.53)で、「6」以上と回答した学生の割合は73.1%であった。
4月以降、高まり度の平均値は徐々に下がり、9月は3.30であった。
- 内定取得の有無別に見ると、「内定取得者」は2月の値が高く、9月が低かった。
気持ちの高まりの理由について、「内定取得の有無」「気持ちの高まり」別に学生のコメントを紹介する。

■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(5分類)の推移 (就職志望者/単一回答)

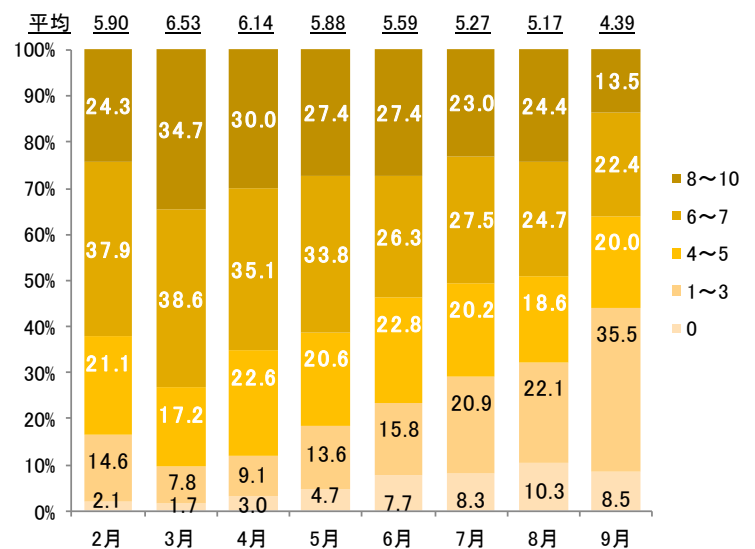
□全体



□内定取得者



□内定未取得者



内定取得で、気持ちの高まり度「8～10」の学生のコメント

- 最初は、最終面接を受けた企業から不採用を貰って落ち込んでいたが、そこから切り替えて色々な企業を見ることができた。(文系・5月調査・「8」)
- 説明会に行くことで就職活動に対するやる気が高まるし、様々な会社を訪問できるのは今しかない機会なので楽しむことができているから。また、気が重いと感じていた面接も、手応えを感じたり実際に次の選考に進めたりすることで自信に繋がっているから。(文系・5月調査・「9」)
- いよいよ第一志望の企業の最終面接だったので、とても高まっていた。(文系・8月調査・「8」)
- 最終面接の日程を案内される企業が増えた。一方で志望度の低い会社へのエントリーをやめ、日程的には余裕を持てるようになった。(文系・8月調査・「8」)
- 入社先を確定するか、まだ第一志望群の選考が残っていたので、辞退してそちらを受けるか迷ったから。(文系・8月調査・「9」)

内定取得で、気持ちの高まり度「0～3」の学生のコメント

- 内定をもらっている会社よりも、特に入りたいと思える会社を見つけられていないから。(文系・8月調査・「1」)
- 内々定をいただいて就職活動に対するやる気がなくなったから。(文系・6月調査・「1」)
- 研究室に追われ、ろくに就職活動ができない状態が続いている。(文系・5月調査・「3」)
- 内々定を獲得し、気が緩んでしまった。(文系・6月調査・「3」)
- 業界的に5月に選考開始が集中しており、とにかくアタフタしてしまい、ゆっくり考える時間がなかった。(文系・6月調査・「3」)

内定未取得で、気持ちの高まり度「8～10」の学生のコメント

- 初めは不安しかなかったが、いざ説明会や選考が始まり行ってみると大変勉強になり、経験にもなり楽しいと感じるようになった。(文系・4月調査・「10」)
- 今まではあくまで公務員の滑り止めとしての位置づけで就活を行ってきたが、様々な企業を見て回中で自分がやってみたい・楽しそうだと思う企業がいくつかあり、本気で取り組もうという気になった。(文系・5月調査・「10」)
- セミナーも座談会形式のものが増えてきて、自分が社会で働くイメージが少しずつクリアになっているのを感じる。本社や工場に見学に行き、働く場所も含めた理解が深まっている。(文系・6月調査・「10」)
- ここで働きたいと思える会社に出会い、その企業の選考に進んでいる。(文系・6月調査・「10」)
- いよいよ面接が始まり、企業からの反応が実感できているので気持ちが高まっている。(理系・8月調査・「10」)

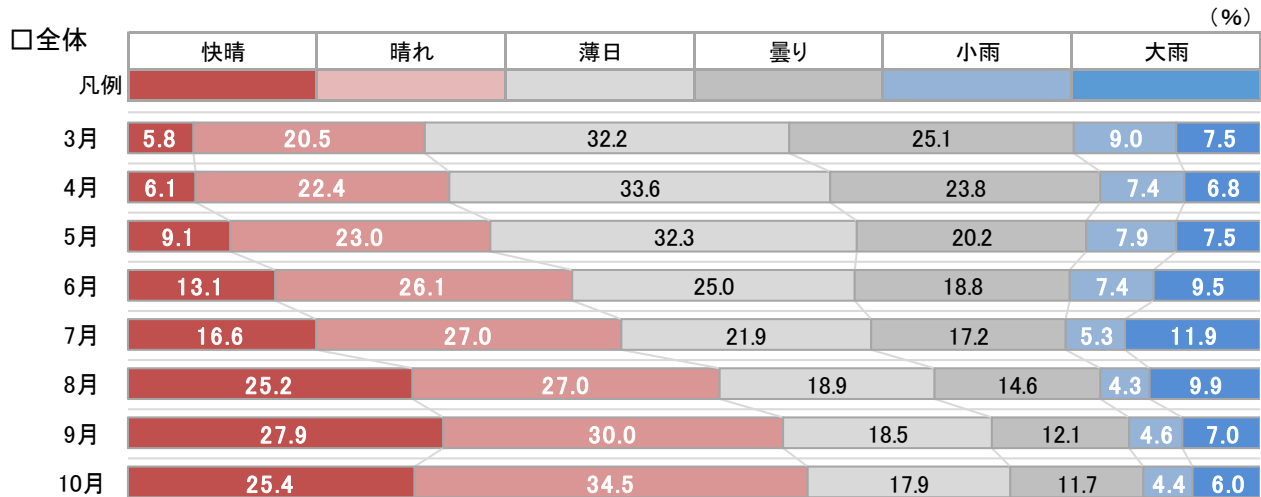
内定未取得で、気持ちの高まり度「0～3」の学生のコメント

- とりあえず周りの流れに合わせて就活をしているから。(文系・4月調査・「1」)
- エントリーシートは順調に通っていたのに、面接になってから上手くいかず、自信とモチベーションが無くなったから。(文系・5月調査・「3」)
- 学業を優先したからあまり身が入らなかった。(理系・5月調査・「2」)
- 不採用が続き、就職活動に対しての意欲が低迷している。(文系・6月調査・「2」)
- 選考が進むにあたり、お祈りメールの数も増え、また学業面も忙しくなり精神的に辛くなってきたから。(文系・6月調査・「3」)
- 3月から就職活動を続けているが、いまだに企業から内定をもらっていないため。就職活動がうまく進んでいないので、つまらなく、面倒になってきたため。(理系・8月調査・「2」)

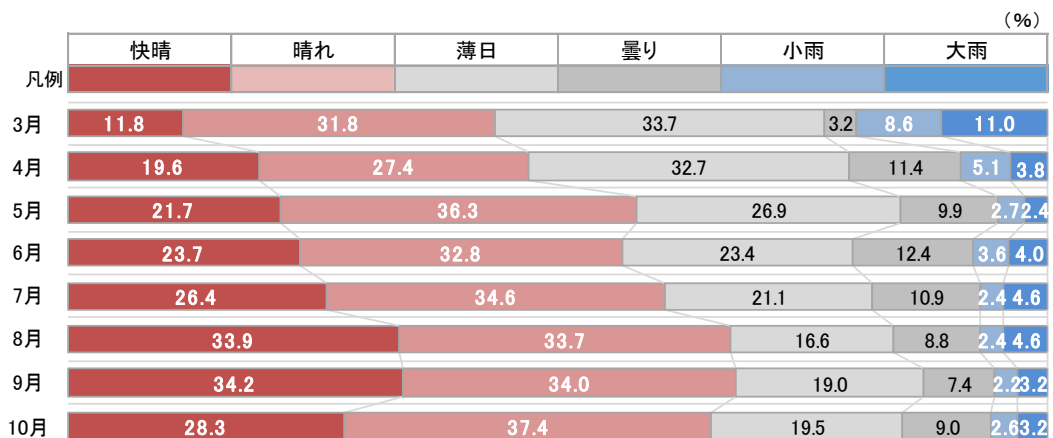
【2】「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)

- 2016年卒学生の、「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)を尋ねると、下記グラフのような結果となった。3月から10月に向けて「快晴」は5.8%から25.4%と増加している。「大雨」は7月の見通しのみ1割を超えたが、全体には1割以下であった。「薄日」(32.2%⇒17.9%)、「曇り」(25.1%⇒11.7%)は徐々に減少した。
- 内定取得の有無別に見ると、内定取得者の方が天気が良い傾向が見られるが、「内定取得者で見通しが悪い」「内定未取得で見通しが良い」学生も存在する。
次ページに見通しの理由について、「内定取得の有無」「天気の良い・悪い」別に学生のコメントを紹介する。

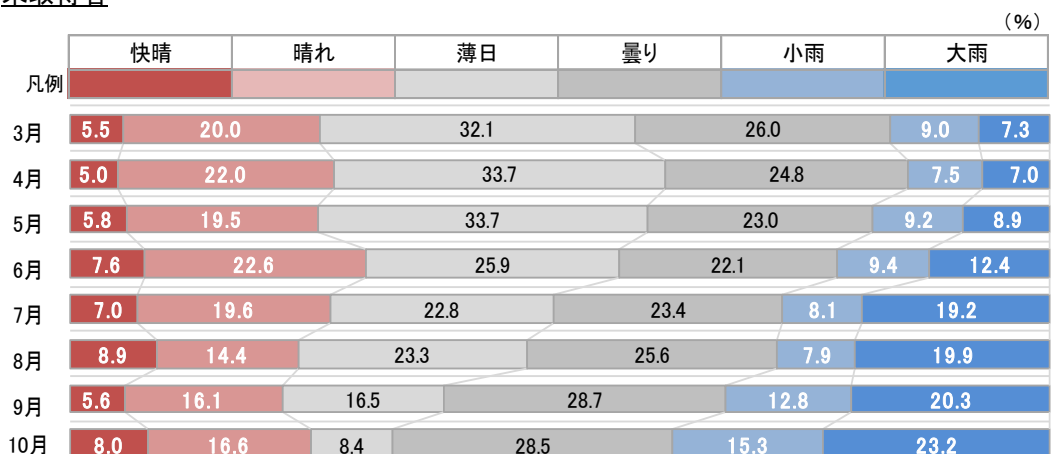
■「就職活動」に対する心情の天気模様_次月の見通し(就職志望者/単一回答)



□内定取得者 (%)



□内定未取得者 (%)



内定取得で、「快晴」「晴れ」の学生のコメント

- 既に内々定をいただいている企業があり、余裕を持って就職活動に取り組めると思うから。(文系・4月調査・晴れ)
- 自分自身の理解、企業の事業内容に対する理解が深まり、自分の言葉で伝えられる力がついているはずだから。(文系・4月調査・晴れ)
- ESもある程度だし終えてさらに志望度の高い企業を絞りだせていると思うから。(文系・5月調査・晴れ)
- 大手企業の選考が近付いているので、モチベーションを高めておきたいから。(文系・6月調査・快晴)
- 今現在採用選考に参加している企業、官公庁から最終的な結果が出揃っている予定であり、良くも悪くも就職活動が終わっていることから快晴としました。(理系・8月調査・快晴)
- 8月中に就職活動を終え、現在内々定をいただいている企業か、現在選考中の企業のどちらかで働くことを決めているだろうから。(文系・8月調査・快晴)
- 民間企業ではすでに内定を頂いたため、残すは公務員試験のみ。公務員試験の勉強は行ってきたため自信はあるが少し不安。よって晴れ。(理系・8月調査・晴れ)

内定取得で、「大雨」「小雨」の学生のコメント

- 暑くなってくるので体力的にも今よりさらに厳しくなると思うし、第一志望群の中でも特に志望している企業や業界の選考結果がどんどん出てくるから。(文系・6月調査・小雨)
- 面接の予定が詰まって忙しくなりそうだから。卒業研究は全くできなくなりそう。(理系・7月調査・大雨)
- 選考が重なって受けたい企業を受けられない可能性が発生しそうだから。(文系・7月調査・小雨)
- 納得のいく企業から内定が得られず、いきたくない企業に入社しなければならないという現実と直面していると思うため。(文系・8月調査・大雨)

内定未取得で、「快晴」「晴れ」の学生のコメント

- 自己分析や明確な将来のビジョンができ、どのような仕事に貢献でき、どんな働きかたをしたいかがはっきりしているように思うから。(文系・4月調査・晴れ)
- 願望もありますが、4月の面接で打ちのめされた分、どのように自分を表現すべきか明確になった気がします。修正して新しい気持ちで挑みたいと思います。(文系・5月調査・晴れ)
- 良い結果があまり出ていなくても、就職活動そのものに慣れたことで、面接に臨む気持ちの持ちようであったり、慣れからくる自信がついていると思うので、今ほど不安に駆られる毎日ではないと思います。(文系・6月調査・晴れ)
- 希望的観測も込みで、中小企業の選考で色々フィードバックを受け、キャリアセンターなどにも通って、自分のES、面接での応答を修正し磨きをかけているつもりなので、今後はうまくいくと思っている。(理系・7月調査・晴れ)

内定未取得で、「大雨」「小雨」の学生のコメント

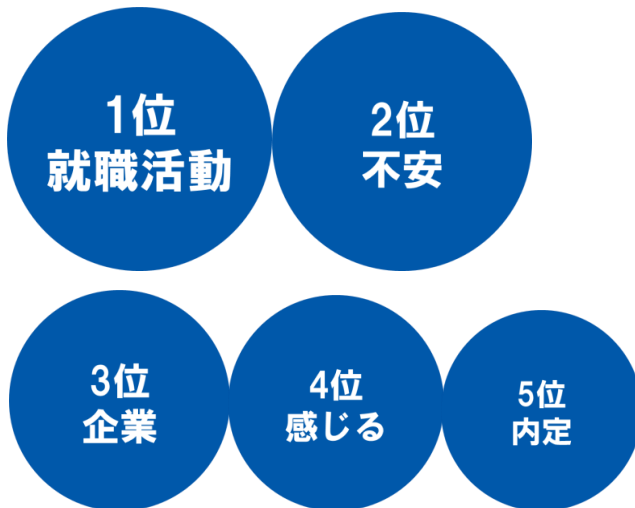
- まだまだ就活に慣れず、選考も増えて、落とされることも増えると思うからです。(理系・4月調査・小雨)
- 教育実習などもあり、期日に追われていそうだから。(文系・4月調査・小雨)
- 実際に落とされてから、自己分析の甘さや話せるエピソードの少なさに気付き、内定獲得の見通しが全く立っていない。(理系・4月調査・大雨)
- エントリーをやっている会社も無くなると思うので、持ち駒がなくなった瞬間に終わりだと思うから。(文系・7月調査・大雨)
- 8月中に内定を持っていなければ学業に影響があるので。(文系・8月調査・小雨)
- 時間が無くなりつつある中で、選考が進んでいるかの見通しが立っていないため。(文系・8月調査・大雨)

【3】 学生コメント内でよく見られたキーワード

- 2016年卒学生が、「就職活動」や「卒業後の進路」について記入したフリーコメントの中の頻出キーワードは、「就職活動」が1位(2015年卒では3位)、「不安」が2位(2015年卒では1位)であった。
- 2016年卒と2015年卒で出現率が大きく異なるキーワードが存在し、その差分の大きいものはページ下図のようになった。

■ 頻出したキーワード 上位5件

《 2016年卒 》



《 2015年卒 》



※2016年卒の3～8月と2015年卒の3～7月の出現率合計を、およその面積で作図した。

■ 2015年卒と比べて、
2016年卒でよく見られたキーワード

時期
学業
学生
選考
分かる(否)
多い
つらい
楽しい
時間

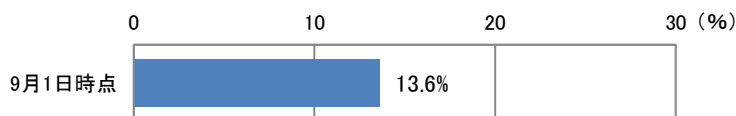
■ 2016年卒と比べて、
2015年卒でよく見られたキーワード

不安
働く
内定
社会人
仕事
就職する
就職
就職先
決まる

(参考) 9月1日時点の、意思に反した就職活動終了の要求や、就職活動の妨げになる拘束について

- 9月1日時点での就職志望者に対して、「意思に反し、企業から就職活動の終了を求められた経験」の有無を聞いたところ、「ある」が13.6%であった。
- 意思に反し、企業から就職活動の終了を求められた経験が「ある」と答えた学生に対し、その内容を自由回答形式で聞いたところ、学生個人の感じ方により、さまざまな程度の回答が得られた。
- 9月1日時点での就職志望者に対して、「他企業への就職活動の制限となるような拘束を受けた経験」の有無を聞いたところ、「ある」が12.1%であった。
- 他企業への就職活動の制限となるような拘束を受けた経験が「ある」と答えた学生に対し、その内容を自由回答形式で聞いたところ、学生個人の感じ方により、さまざまな程度の回答が得られた。

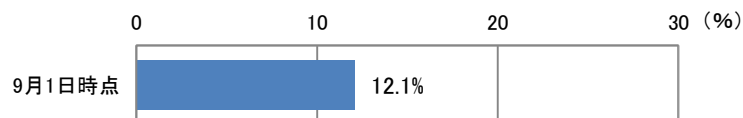
■意思に反し、企業から就職活動の終了を求められた経験 大学生__全体(就職志望者/単一回答)



【内容について】

- 他社の選考を辞退したら内定を出すとされた。
- 内定には定員数があり、内々定承諾書を早く出さなければ内定の取り消しという事態もあり得るとい話をされました。
- 就職活動を終了し、内定者の工場見学会に参加することが強制された。
- 内定承諾書後の辞退はできないと強く言われた。
- 電話で内定の連絡がきた際に、他社さんの選考があると思うのですが、全て辞退していただきたいと思う、という事を伝えられた。
- 学校推薦状の提出を求められた。
- 他の官庁を回らないことを条件に内々定を出す(国家公務員採用試験)。
- 内々定を受け取るのか、8月末までに連絡をお願いします、というもの。
- 他社の内々定と選考を辞退したら改めて連絡するよう促され、その後内々定を確定すると言われた。
- 内々定を条件に、他の企業から得ている内々定を辞退するように言われ、実際に辞退したかどうか後で確認の電話を入れると言われ渋々、他の企業の内々定を辞退しました。しかし、待てども待てども、辞退をしたかどうかの確認の電話が来ず、別に辞退することもなかったなど、後悔しました。

■他企業への就職活動の制限となるような拘束を受けた経験 大学生__全体(就職志望者/単一回答)



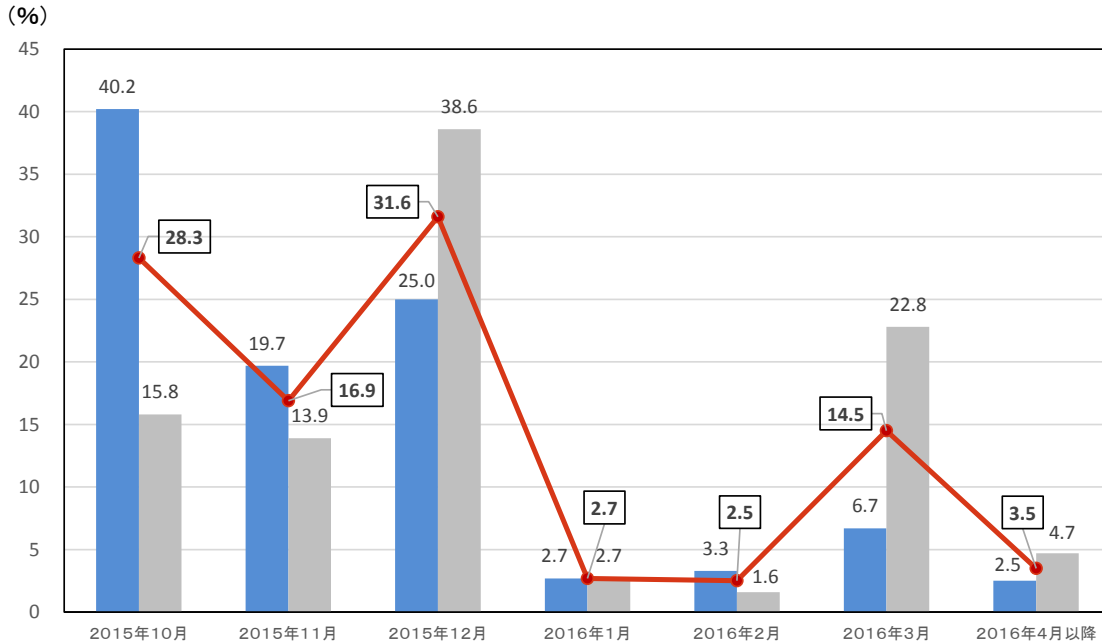
【内容について】

- 面接直後に食事会に連れていかれた(8月1日)。
- 8月1日から3日まで工場見学会への参加を強制された。
- 一応参加自由だが、8月3日に長時間の懇親会が行われた。
- 内々定者懇親会と銘打って、8/1に拘束されかけました。
- 8月1日に面接以外に内定者で遊ぶようなイベントが用意されていた。とはいえ、個別に相談すれば他社の選考に行けないこともなく、拘束力はさほど強くはなかった。
- 選考解禁の8月初旬に研修旅行があった。
- 内々定者懇親会と、内々定お祝い会が8月上旬と中旬にあった。
- 7月中に内々定の通知をもらっていたが、8/1に最終面接という形の意味確認があった。その際、会社の研修センターに1泊2日で缶詰にされ、他社の選考を制限された。
- 8月1日に内定者懇親会があった。半日かかった。
- さまざまな名目で呼び出されることが多い。
- 他社の選考は全て辞退しますという紙に署名させられた。

(参考) 10月1日時点就職活動実施者の就職活動の終了予定時期

- 10月1日時点の就職活動実施者に対し、「就職活動をいつまで行うか」を聞いたところ、「2015年12月」と答えた学生が31.6%で最も多く、次いで「2015年10月」の28.3%の順であった。
- 10月1日時点の就職活動実施者のうち、内定有無別の活動終了予定時期を見ると、内定取得者では「2015年10月」が40.2%で最も多く、内定未取得者では「2015年12月」が38.6%で最も多かった。

■就職活動の終了予定時期 大学生_全体(就職活動実施者/単一回答)



<今後の就職活動をどのように進めるか(自由回答)>

【就職内定取得者】

- 合同企業セミナーや個別説明会を少なからず週一で受ける。
- 公務員試験の面接まで行けるようにし、また、面接の練習など行う予定だ。
- 内定が貰えるまで、ひたすらエントリーし採用試験を受ける。
- 追加募集、秋冬採用などを中心に見ていき、自分の納得のいくところまでやるつもり。
- 10月に面接、試験を受けて11月に内定をもらえたらそこ終了するけれど、まだ内定もらえなかったら活動は続けます。
- 現在進んでいるところが終わり次第決める。
- 大学内の説明会、求人から企業を探し、数多くの企業の選考を受ける。
- 公務員の採用面接が行われる。
- 合同説明会でいろんな企業に出会う。その中でマッチしていると思う企業の選考に進んでいくつもり。
- 正社員登用制度のある契約社員を目指す。来年度の活動に向けて業界研究・自己分析を行う。

【就職内定未取得者】

- 人材紹介会社の紹介と自分で探して。
- 現在内定が貰えそうな企業がある一方で、気になる公的機関があるので、企業から内定を貰えようが貰えなからうが追加募集があれば応募したい。
- 大学の求人票や就職サイトを中心に進めていくことを考えています。就職サポートの会社にも相談したりして応募先の企業を決めています。
- 秋採用を続けている企業が沢山あるので、卒業研究と並行して行っています。そして、筆記試験対策にも力を入れています。
- 学業が大変なので、月に2・3社程度選考を進めていこうと考えている。
- キャリアセンターを利用しアドバイスを貰いながら頑張る。
- 今まで通り、紹介会社や学校の求人票を頼りにやっていく。
- 規模や職種・業種にこだわらずに内定を得られるように進めたいです。
- 年明けぐらいまで就活が長引いた場合、自分だけで行動するのではなく、大学の就職支援センターを利用してアドバイスをもらいながら進めたい。

ご使用に際しては必ず
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
(kouho@waku-2.com)まで、ご一報ください。

就職みらい研究所とは

「就職みらい研究所」は株式会社リクルートキャリアの新卒事業本部内に設置されている「調査」「研究」「情報発信」を目的とした組織です。

「働く」の第一歩と言える就職の“今”と“未来”を掴んで広く発信し、よりよい就職・採用の在り方を模索する活動を推進することで、

ひとりでも多くの若者が前向きで力強い第一歩を踏み出せることを目指しています。

2015年9月28日 就職みらい研究所 Webサイトをリニューアルしました。

就職みらい研究所で実施している調査・研究などを、Webサイト上に掲載しています。今回のリニューアルは、ご利用者の皆様が求めている情報を「より見つけやすく」することを目指して改修を実施しました。右に、変更のポイントをご紹介します。

【1】 サイト上部のタブ(下図)から、サイト内コンテンツを探せる構造に

「調査結果」「就職白書」「研究報告」などのタブの上にカーソルをのせると、タブ内の情報が表示されます。見たい調査や、知りたい研究にダイレクトに到達できます。



【2】 フリーワード検索も充実

フリーワードでサイト内に情報を検索することが可能です。また、「キーワードから検索する」を押していただいて、頻出ワードなどで探すことも可能になりました。



【3】 旬の情報は、サイト上部でご紹介

新たな調査結果や研究報告はもちろん、今参考にさせていただきたい旬な情報を、サイトの上部でご紹介していきます。



株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所 (http://data.recruitcareer.co.jp/) 所長 岡崎 仁美

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ宛 Mail : kouho@waku-2.com